



平成18年1月18日
環境課 原子力安全対策室 近藤
内線 1880 直通 0952-25-7081
E-mail: kankyou@pref.saga.lg.jp

プルサーマル公開討論会のアンケート結果について

平成17年12月25日(日)に唐津市で開催した県主催の「プルサーマル公開討論会」において実施した、参加者を対象にしたアンケート調査の結果を取りまとめました。

これまでの議論の中で、プルサーマル計画の安全性についての論点は、ある意味出尽くしたと思っておりますので、できるだけ早く、安全性についての県の考え方を整理することとしています。

1 調査の概要

- (1) 調査対象：公開討論会への参加者(782人)
- (2) 回答数(回答率)：561人(約72%)

2 調査結果(詳細は別紙参照)

- (1) 回答者については、
 - お住まいは、玄海町が約17%、唐津市が約62%
 - 性別は、男性が約88%、女性が約12%
 - 年代は、40代が約32%で最多
- (2) 討論会の時間は、「適当だった」が約56%で最多
- (3) 参加されての全体的な感想は、
 - 「良かった(約32%)」と「まあまあ良かった(約40%)」が合わせて約72%
 - 「良くなかった(約3%)」と「あまり良くなかった(約7%)」が合わせて約10%
- (4) パネラー等の説明については、
 - 「理解できた(約32%)」と「だいたい理解できた(約36%)」が合わせて約68%
 - 「理解できなかった(約5%)」と「あまり理解できなかった(約5%)」が合わせて約10%
- (5) 安全性について理解が深まったか、については、
 - 「そう感じる(約30%)」と「だいたいそう感じる(約35%)」が合わせて約65%
 - 「感じない(約9%)」と「あまりそう感じない(約5%)」が合わせて約14%

【参考：プルサーマル公開討論会の開催目的】

九州電力株式会社玄海原子力発電所3号機において、プルサーマルの実施が計画されており、今回の公開討論会は、プルサーマルを推進する立場、慎重な立場双方が一堂に会し、その安全性を議論していただくために県が主催したものです。

佐賀県の原子力安全行政ホームページ（討論会の模様を動画で見ることができます）

http://www.pref.saga.lg.jp/at-contents/kurashi_anzen/genshi_ryoku/genshi_ryoku/index.html

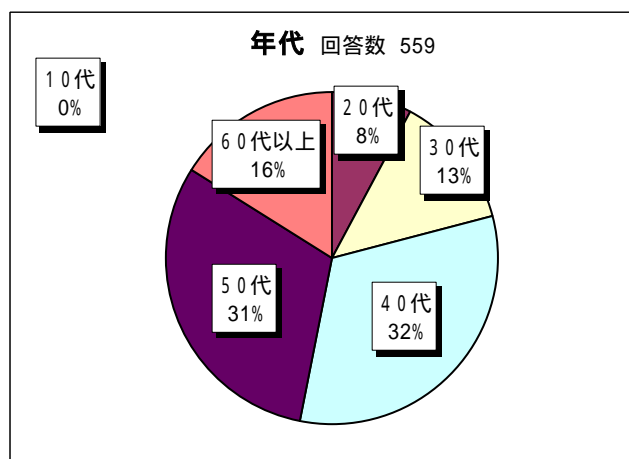
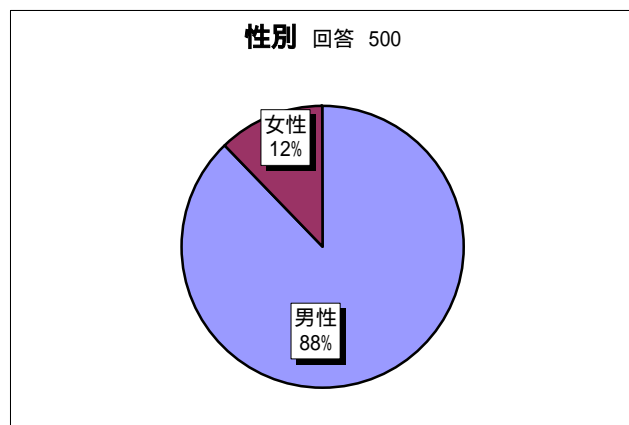
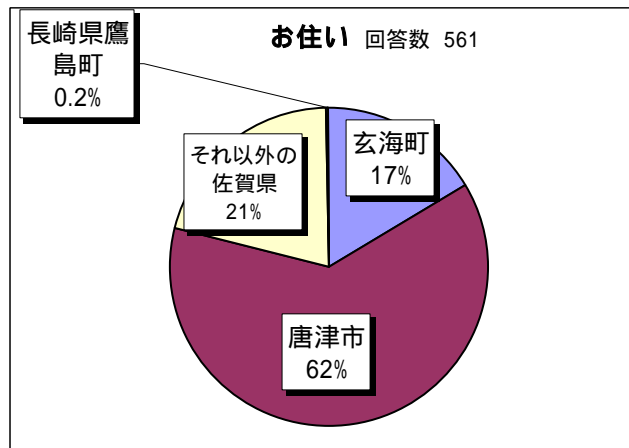
県のホームページ（<http://www.pref.saga.lg.jp/>）の「暮らし・安全」「原子力安全」からもアクセスすることができます。

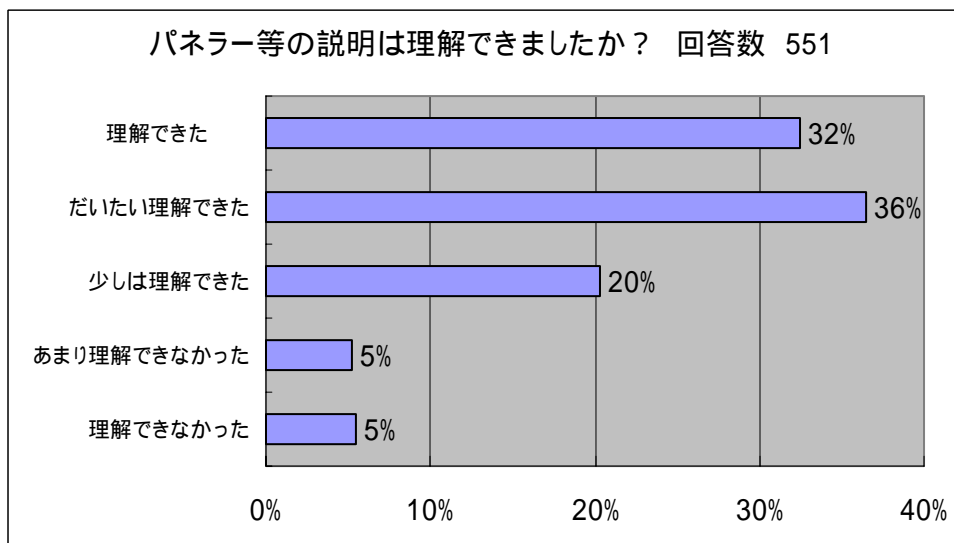
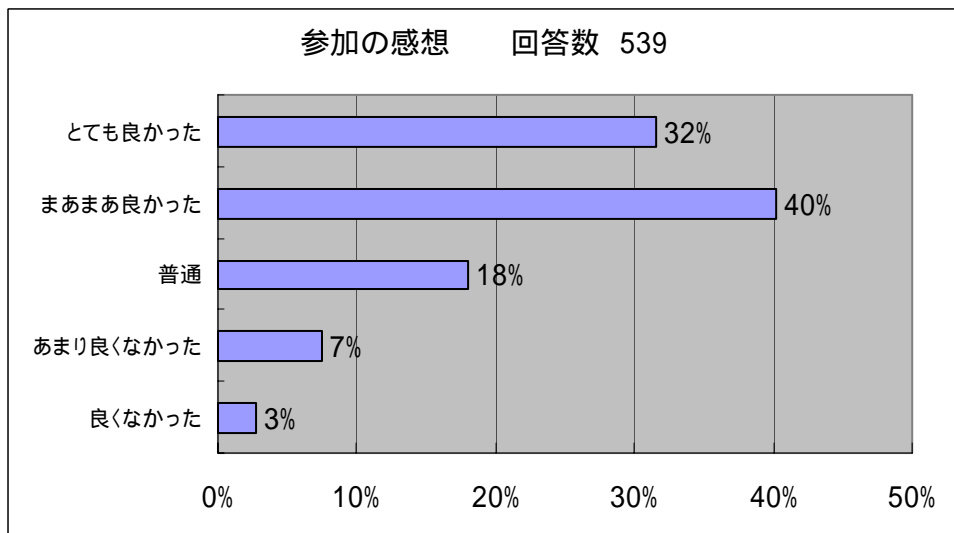
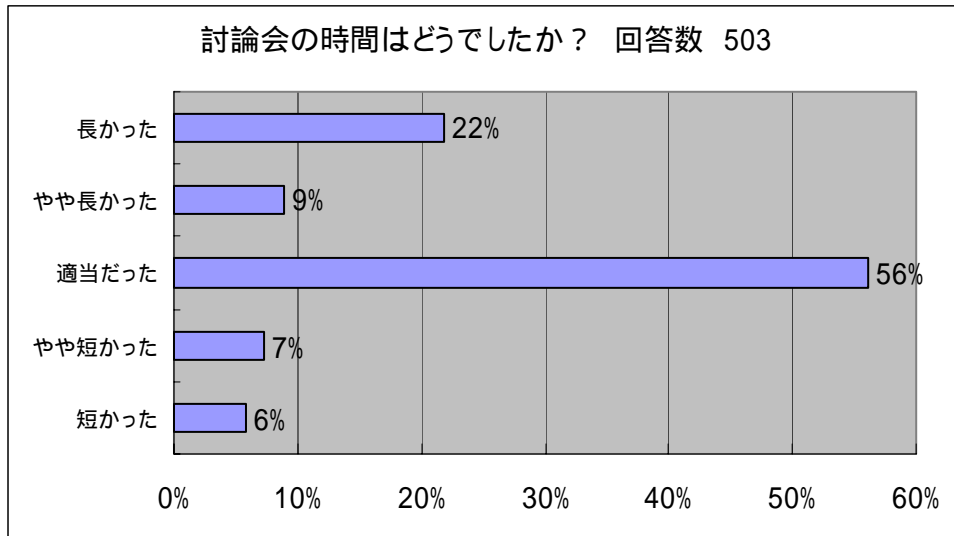
<添付資料>

- 別添1 アンケート結果
- 別添2 アンケートにおける自由記述・意見
- 別添3 プルサーマル公開討論会開催概要
- 別添4 アンケート用紙

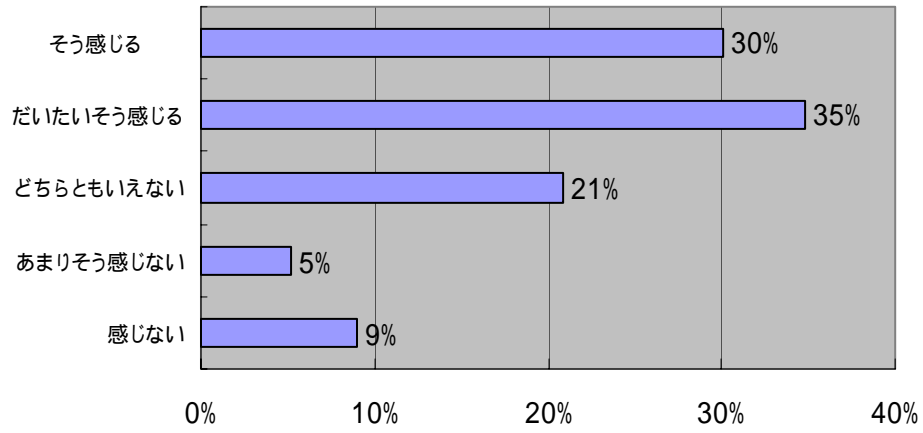
『プルサーマル公開討論会』アンケート結果 (平成17年12月25日実施)

【アンケート回答者数 561人】

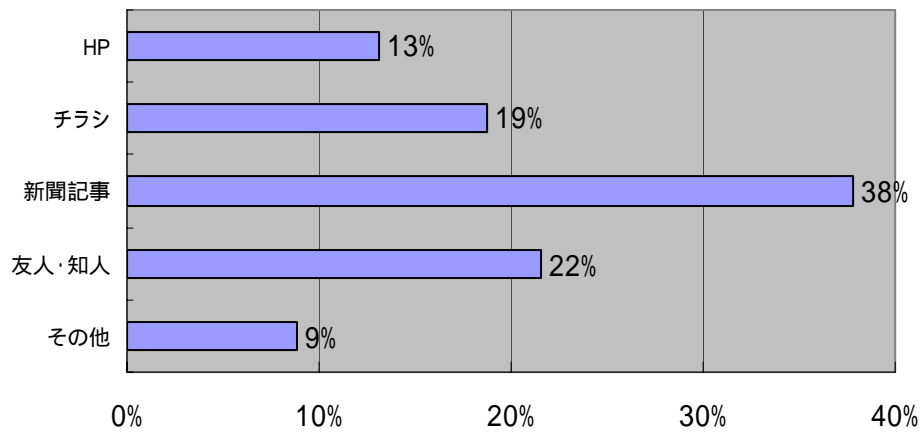




安全性に理解は深まりましたか？ 回答数 445



討論会開催を何で知りましたか？ 回答数 556



■□プルサーマル公開討論会アンケートにおける自由記述□■

Q3. 「プルサーマル公開討論会」に参加されての全体的な感想はいかがでしたか。どのような点でそう感じましたか。

1. とても良かった

質疑応答のやり方(ブロック別)が効果的/賛成派・慎重派それぞれの意見が聞けた/年末に行われるのは考えてほしい/反対派の根拠のあいまいさがわかった/推進派の技術的根拠と反対派の根拠は無いが不安感を持つ人がいること/反対意見を多く聞けた/賛成者の科学的な考え/パネラーの人数がよかった/プルサーマルの安全性・危険性両面から聞けた/安全性について理解できた/反対派の意見が誇張されたものであることを賛成派の先生の意見でわかった/理解できなかった部分が理解できた/さまざまな発言を肌で感じることで自分自身の考えをまとめる際の参考になったため非常に有意義であった/MOX燃料の性質で4つの特徴があることが理解できた/推進・慎重派の意見の違い、考え方が浮き出た/推進・慎重双方がきちんと意見を述べ合ったという点でよかったと思う/コーディネーターが良い/知らなかった専門的なことがわかった/会場からの質問を受ける時間が長く意義がある/プルサーマル計画のポイントが整理・理解できた/専門家の話を聞いて非常によかった/プロとして反対している人がいっぱいいる。安全だから関係なし/広範囲の参加者を募集したこと/テーマを安全性に絞ったこと/賛成・反対によらず、いろいろな視点で物事を考えることができた/教授および一般市民の意見が大変ためになった/大橋氏は原子力の専門家で安心でき、反対派の質問者が他人から聞いた危険要因を言われて、逆に聞かれたのは非常によかった/オープンに開催された。パネリストの森本氏もOK/「不安」を作る人間が誰かわかった/賛成反対の考え方および全体から見たエネルギーの必要性を感じた/安全でないことがいっそうよく理解できた/反対している人の意見がよくわかった/質疑の時間も十分よかった/パネルディスカッションでは反対派・慎重派との意見で反対派の値のなさがわかった/議論がよくできた/国際的な見方、日本の技術力の高さなどから真の安全性が見えてきた/賛否両論を一堂に会し、コンパクトな形で聞けた/不安材料がなくなった/パネラー・コーディネーターの人がその道の専門分野ということで納得できる内容だった/安全性に特化した討論会であったが、それでも時間が足りないくらいいろいろな角度からの質問があった/コーディネーターは中立的にパネリストの話を整理したので安心して聞けた

2. まあまあ良かった

説明がわかりやすい/賛否両論の話が聞けた/プルサーマルの内容がわかった/質疑応答の時間が多く、広く意見が聞けた/森本氏の「国家的視点での議論を」の発言/山内氏の「耐震基準の見直し」提言がまともなものだった/反対派の意見は理論性が薄い。特に小出氏の発言は研究者とは思えない。説得力がない/エネルギーの乏しいわが国ではぜひ必要/専門用語がでてきたらそうなのかなと思ってしまうので本当なのかわからない/日本の技術力を信用している/反対派は何年たっても同じことばかり/どういうところが安全・不安全と論争しているのかわかった/賛成派・反対派の拍手・マスコミのフラッシュは野次/比較的冷静な討論会/少しはわかりやすかった/賛否両論の意見がほぼ同率で聞けた/かみ合わなくて判断に迷った/推進派のパネリストが技術的な観点から丁寧な説明をしてくれた/活発な意見が出されていた/いろいろな考え方を聞けた/安全だろうと感じた/言葉・声を生で聞けた/パネリストの中に中間的な意見を持った人がいた/専門家の意見を聞くことができ理解ができたから専門家同士の意見で討論がなされていた/これ以上の討論はなかなかできない/隣接国より日本の技術に差を感じ技術に裏づけされるプルサーマルに/講師の話がわかりやすかった/パネラーの意見がプルサーマル以外の話になってしまうのが残念/防災・テロ対策の意見が聞けた/プルトニウムの毒性と危険性がよくわかった。ドイツのようにそろそろ自然エネルギーに代わっていかねばならないと思う。子供や孫の世の中が安全な世の中になっていくように私たちは考えていかねばいけないと思う/安全性のテーマと違うことを発言するパネリストがいる/TVでは見たことはあったが、みんなの話を聞いて安全性を理解した/別の視点で考えられた/安全性に絞った討論会にしたことがよかった/専門家の話が聞けた/的をもっと絞ったほうがよい/地区に持ち帰り、説明は難しいが、自分なりに理解できた/反対派の説明の根拠が不明確/県が計画した以上の参加者だった/対立テーマ

ごとの論争があって考え方の原点の違いが浮き彫りになった／完全性について／ウランとプルスーマルはあまり変わらない／安全性の尤度に関することが理解できた／難しい内容であるが、何回も聞いているうちに少しは理解できた／対極線で議論するので賛否両論で選択の基本にならない／反対派がパネルディスカッションを聞かず、自分たちの思いだけで語るため、他の貴重な意見・質問が聞けなかった。プルスーマル以外の質問が多い／安全性が少しわかってきた／専門的な話が少し多すぎてわかりにくかった／技術力に問題なく運転ができることが安心／周囲の人反応も含め議論の内容がわかった／問題がわかった／反対のための反対の質問はいや／プルスーマルは慎重な先生の意見は原子力そのものに反対する意見だ／舞台が狭く、パワーポイントが見にくい／安全性に絞った議論だったためわかりやすかった／国内の技術論より、隣国の原子力がリスクのある蓋然性が高い。国内のプルスーマルはたいした問題ではない／質疑応答の時間が短い／賛成派と反対派の意見がかみ合っていないが、まあまあよかった／今までよりはよかった／安全性や危険性についての説明が詳細にあった／反対者は反対のために発言／賛否・中立の三者の話が平均していた／少し難しい面もあったがかなり理解できた／一方的な話ばかりでなくよかった／東大先生の言うことは正しいのだが、素人に対して技術論をぶつけすぎ／賛成派ばかりではなかった／専門用語が過去の説明・解説会よりもやや改善／推進派の説明に対して慎重派からの意見はがっぷり組むのではなく、他の面での議論が多くも少し深まるとよかった／会場からの質問意見を充分取り上げていったのはいい。一部の専門家のみ委ねられるのは問題が多い／佐賀県としての考え方が見えない／推進する側の説明は具体性がない／みんな真剣だったから／質問内容がいつも同じでいつも平行線状態／もう少し広い会場で／パネリストの率直な主張が聞けた／燃料関係について詳しく説明してもらった

3. 普通

野次を飛ばした人は退場させるべき／プルスーマルについての話題の焦点が大きすぎた／反対論者の意見がややわかりにくい／推進派と慎重派の意見がかみ合わない／言葉が難しい／反対賛成のプレゼンを交互にして欲しい／反対の人の話が初めてちゃんと聞けた／議論の中で勝手に発言する人に対して退場させて。同じ人に時間をかけすぎている司会は考えること／平行線のまま進展がない／反対意見がかみあっていない／自分の知らなかったことが少しわかった／賛成・慎重派平等に意見交換されていた／勉強になったが結局安全なのかわからなかった／原発って止められないんですね。壮大なうそはずっと続けなくてはね。大変ですよ。別の方法も考えられるでしょう／TVで見るような感じ／討論会とはこういう感じかと思った／反対派が多い／論点を提示して説明／危険・安全がよくわからない／前半の説明はよく理解できたが反対意見を言われる方々は相手が話した内容を聞いて意見を言うべき／専門家同士の攻防に傾きすぎ／会場との応答の時間をもっととって欲しかった／質疑応答の時間が短い／プルスーマルの何が危険なのか反対する意見が明確でない／質問者が多く参考になった／感情的になりやすい人がいて聞きにくかった。質疑応答はいらない／意見はほとんどの人に発言させるべき／推進・反対・慎重の意見がきけてよかった／特に反対派のパネリストの考え方では日本の将来は危うい／討論会の進め方がいつもと同じでマンネリ／議論をかみ合わせる工夫が必要／プルスーマルの是非は当然だが、討論会によってこの種の事業についての意識付けも大事なので内容理解は困難な点も多いが緊張感を持つ意味でよかった／テンポが速く説明が十分になされなかったところがある／議論の時間が短い／玄海町での場合と同じ／前回に比べ質疑の時間が長くとられた／質問の時間が少ない

4. あまり良くなかった

前回の国主催の討論会結果を受けて、安全性に対する理解を深めることを主目的にしていたと思っていたが、時間不足なのか調整がとれていない／質疑応答が長時間でよい／プルスーマルとの関連から離れすぎている／議論の中に住民のことを考えていない／パネラーの態度がおかしい／プルスーマルの安全より原発の安全に終始した点／賛成派の方の動員は×／安全性の方向にばかり話をもっていこうとしていたところ。討論会はいろいろな考えをぶつけあっていいと思う／安全性に対する理解をするためにパネリストと資料内容が十分でなかった／感情的な質問が多く焦点がすぐにずれる／議論がかみあわない／慎重派が理解しようとしていない／プルスーマル以外の発言が多すぎる(特に小出氏・森本氏・山内氏)／反対意見のほうに偏重されていないか。本当に中立をとれているのか疑問／理解しあおうとする姿勢が感じられない／会場が狭い／学者の話で説明がわかりにくかった／特に反対意見では技術的な観点からの討論ではなかった／論点の違う話題が多かった／質問の内容にガックリ／反対派が感情的でパネラーの話を聞いていない／スムーズな進行を／パネラー

の発言が挑発的。現地の人の気持ちがわかっていない／議論は専門家は専門家、運動家は運動家のレベルで討論が必要だ／パネラーの説明を理解しないまま質問するものが多い／推進側のパネラーで人を傷つける発言があった。質問の時間 2 分では短すぎる。全体でも短すぎる。一人一回でおさまらない。小出氏や大阪の反対運動をしている小山氏がいたので救われた／問題を出すだけで解決したり、方向を決めるなどの雰囲気はまったくなかった／発言者の指名に偏向があった／大橋氏の住民のことを考えていない発言／設置主体の九電、許可の権限を持っている国や地方自治体の発言には責任をパネラー任せになっており、会場からの質問に対して誠実に答えていなかった／プルサーマルの公開討論会になっていない／参加者の質問がすべて聞き出せていなかった／反対派の質問に対する時間が長かった／なぜ安全性が 90%以上新しい発電所を作って安全な機械を開発して国民が安心して生活できる、環境を作って欲しい発言をして欲しかった／九電関係者の出席が多数を占めていて多数決を示す討論ではない

5. 良くなかった

一方的に安全だと答える人がいて具体的な説明、住民がわかりやすい説明でない／反対者の言っていることが不明／質疑をもっとできるようにして欲しい／12 月 25 日クリスマスという日の設定の仕方が悪い／パネラーの一部に挑発的で不快感を持つ討論会だった／会場の声はほんの一部だったので、これではきわめて不十分／学者の言い分を聞くのみで、どちらがいいか悪いか判断つかない／大橋氏の話は慎重派の人の話に正面から答えるものでなく理解できなかった。慎重派の人が発言しているときにいつも「ニヤッ」と笑っていて人間性に欠陥があると感じた。そのような人の話は全く信用できない／参加者の発言の時間があまりに少ない／結論を出そうという流れ。年末の忙しい中急遽開くという乱暴さ／安全安心に不安があるから参加しているのに、大橋氏の参加者をバカにしたような発言は失礼／十分に理解できない／紳士的な議論がなされていない／質疑応答はするべきではない。同じような質問ばかり…

※無選択

事実に基づいての議論になっていない／技術的数値や判断基準の確信はそれぞれの立場で同じ数値でも違うことがよくわかった。一資料に惑わされることのないように勉強がさらに必要と思った／感想以前の問題。なぜ玄海 3 号機か。東電・関電にめどがたたないところになぜ玄海か／安全性・耐震見直しも加わり、プルサーマル安全性と検討拒否を聞いた／推進派・慎重派共に十分議論していた／安全慎重論をよく聞いて理解できた

Q4. 「プルサーマルの安全性」について、講師等の説明は理解できましたか。どのような点でそう感じましたか。

1. 理解できた

推進派の説明が理論的／小出さんの根拠のない危険性は言わないで欲しい／安全性はよく理解できた／反対派の説明は感情的すぎる。論理的でない／日本の原子力技術は世界でもトップクラス／出光・大橋講師の説明は具体的数字を示したもので大変わかりやすく、安全に対する安心がもてた／推進は安全・反対は不安全／定量的な説明／反対者の心配が過ぎる／賛成反対それぞれのパネラーの発言がよくわかり、自分の考えがまとめられた／説明がわかりやすかった／技術的などあらゆる角度から分析されていた／例を挙げての説明／賛成・反対の意見をよく聞いた／具体例がわかりやすかった／賛成の先生の説明はわかりやすかった／専門家の意見を聞いた／技術的な説明が十分な内容であった／これまでの討論会や勉強会・説明会など／科学的なデータ・見地による説明／過去の討論会の反省点が活かされていた／反対派が明確な理由・根拠もなく危険と発言していることがわかった／富化度・プルスポット・溶融点／はっきりといわれる先生方がよかった／翼研究されているので安心した／温度など具体例がわかりやすかった／反対は情緒的で根拠が希薄だったが、推進側はわかりやすい説明に努力していた！／主張点がよく理解できた／具体的数値を示され安全性への理解が深まった／反対派の意見がでたらめ／明確な反対がない。理論のすり替えが多い／聞けばわかる。わからない人は理解しようとする頭がない／これまでの討論会なども含めて理解できた／出光・大橋・森本氏の説明／スライド等をうまく使用しよかった／何回も聞いたので／性能・安全性が変わらない／解析上、現在と大きな相違はない／賛成派は研究や専門的勉強をされて、安

心できる。反対派は仮定の話ばかりで信用できない／大橋氏の話が特に理論的で共感できる／「1/3MOX報告書」の定義について説明があり、理解の向上に役立った／どの意見に対してもわかりやすい回答・バックデータも充実／安全性は理解できたが、残物については不安／賛成・反対どちらの意見も理解するが、少し反対側のは変なこともあった／森本氏の話に共感。反対の先生はリスクをあまりに小さな極論でしかとらえていない。もっと大局的に考えるべき。反対の先生は、もしも・たら・ればの話が多すぎ／一般的に危険という反対の意見の信憑性がわかった／親切・丁寧な表現で理解できた／漠然とイメージで判断しなくていい／各講師の自論が発言された／プルサーマルを実施することによる危険性を理解した上でその安全性について認識を深めることができた／技術的には難しいが国際的・日本のエネルギー事情等でのこと／専門家から直接説明してもらえらる機会はあまりなく、非常にわかりやすかった／幅広い意見が出た／データの正確性／発電のルートと理屈／先生の話聞いて安心できた／イラストがわかりやすい説明だった／確率の話、絶対ある・ないの話、の論議以外は理解できた。だからどうするかとの意見がお互いに欲しい／「原発に反対する会」の人の話は、自分の意見や考え方が入りすぎてパネリストとしてはダメ

2. だいたい理解できた

説明がわかりやすい／今までの討論会での内容はほぼ同じ／話が違うところにくいため理解しにくい／可能性は最悪の場合まで想定したものを議論の対象としたが、ほとんどありえないものをことさら強調しても意味がない。反対派は事実を歪めて吹聴しているように見えた／わかりやすい表現で誰にでもわかるような説明／技術的視点からの説明がわかりやすい／根拠を知ることができた／“プルサーマル”のことはとても難しいのでわかりにくいけれど、スライドを使っていたので少しわかった／講師で考えが偏っている人がいる／大橋氏は理性的説明が少なかった／ウラン燃料でもすでにプルトニウムが燃えている／科学的な見地での説明／これまで数回類似の討論会が行われてきて、説明がこなれてきた／推進側の大橋教授の具体的根拠を正確に示していたから／大橋氏などの説明は理解できない／想定外の事故の具体的説明がなかった／何もしないなら何もしないほうがよいと誰もが思う。電気を使うエネルギーを使うなら全体を考えるべき／事故のない、人的・物的に最大限の努力が必要／事前に勉強していたので理解しやすかった／慎重派側パネラーについてはデータが少なくあまり参考にならない／科学的に証明できる事項が多かったので理解できた／慎重派の説明が論理的でなく、時として不安をあおるような発言のアクセントのつけ方、資料の作成があったためその点についての理解ができない／各講師のパネルディスカッションがわかりやすく聞けた／きちんとした検査等をすればよいかと思ったから／日本の技術力／科学的分析に基づく見方と仮想的見方でプロ(推進・慎重共)が発言しているということ／専門用語が多いのでついていくのが大変／安全でないと考えるパネリストの説明は科学的根拠に乏しい／いろいろと問題があると思うが、一応の目安がわかった／変。リスクは加算されるのに比較して低いとは言いがた／出光・大橋氏の両先生がより詳しく述べられたこと／話のあった議題については理解できた／賛否共に説明はよかった／細かく話されていた／「1人で車に乗るときのブレーキの効き具合と、2人で車に乗る時のブレーキの効き具合と似ている」等の説明／原子力発電自体に、またプルサーマル導入においてもリスクを伴っていないがそれをうまくコントロールできること、技術が確立していると思う。また、信じたい／慎重派を納得させようという意気込みがなかった。もう少し努力してほしかった／反対する意見では根拠のないことを話して、どんなデータでも条件があるはずでそれを無視して流言とするのはいかげななものか／理解したがまだ不安／今まで聞いていたこととあまり相違がなかった／講師によってはプルサーマルとは全く関係ない話しかできない／プルトニウムの性質などについて理解した／危険な話を聞けばそう聞かせる。危険だからこそそうならないように／技術的面で難しいところもあったがかなり理解できた／専門用語が多くて難しい点が多々あった／捏造されたことをなるほどと思っていた／学者が御用学者的な傾向のほうが多いので危ないと理解できた。その態度の楽観性が心配／パワーポイントと資料の両方がよい。パネラーの議論の論点もはっきりした／プルサーマルも今の発電方式も安全性については大差はない／今後の管理を利益だけを求めすぎず安全を最優先にして欲しい／スクリーンを使っての説明。専門的な話でよいとえば〈a〉の項目についての質問に対し、それぞれ〈a〉に関する専門的な立場から具体的な回答があった／大橋氏と小出氏のやり取りで論点がよくわかった

3. 少しは理解できた

危険性などよくわからなかったが話を聞いて理解できた／専門的な用語・考え方があり難しい／安全性に対する想定事故

がどんなものなのかわからないので、もっと詳しく説明して欲しい／各パネラーで安全性を主張する人とそうでない人との差が大きくて理解が難しかった／わかりやすかった／小出氏の説明はわかりづらすぎた／安全性に対する説明内容が少し少ない／融点・ガス発生状況の試験等を聞いて理解できた／技術的に言いたい意味は理解できるが、無理なこじつけばかり／温度上昇などが制限できること／たとえ話がわかりやすかった／安全か安全でないかわからない点があった／プルトニウムの発生と問題点について／安全の保証／時間が少ないので説明等が早く理解しがたい／データがわかりにくかった／専門的な言葉や数値は理解しづらい／安全ではある／論理がかたまって双方平行線であり聞きづらい／一人ひとりの話しが時間の制約で短いため、「理解する」というところまでにはいかない。言っていることはわかるが…／熱くなると専門用語が使われたりして一般の方には理解できないところもあったと思う／専門的説明で聞くほうの知識がない／結論・結果があまりよくわからない／図表を利用しているため、理解の一助となった／研究データ中心のはなしがよかった／プルトニウムの特性などがわかった／安全性に問題がある／科学的・技術的に少し理解できた／噂話のようなことを信じていたがそれが事実でなかった／画面が見づらい／専門的過ぎ／難しい説明だから／安全性が確保できていない。事故等に対する反省なし／原子力より危険度が増す／それぞれの専門家がわかりやすい資料を用意していたため／数字について非常に難しいものがあった／性善説に基づいてみんな仕事をしている／安全という前提で話しをされた／スクリーンが見えにくい／説明資料が豊富／聞けば聞くほど安全か危険かわからなくなった

4. あまり理解できなかった

安全性についてはまだ不安／安全性を判断する基準を持たない／パネリストで一部専門用語が多くてわかりにくかった。一般住民が理解できる方法で討論会を再度開いて欲しい／事故についての提言がなかった／もう少し住民に理解できるレベルの話が必要。難しすぎ／運転の実績がない／講師が言っていること自体、正か否かが理解できない／両論があり、プルスーマルが完全に安全とは思えない／数値・技術論／技術の話はわからない。住民にどう影響するかの話がなかった／直接今までに体験がないから／講師は自分たちだけ理解している。噛み砕いて説明して欲しい／洗脳された者同士の話でどちらが正しいのかわからない

5. 理解できなかった

住民にわかりやすい説明でない／パネルディスカッションで安全性がなかった／人間のすることに絶対安全はない／講師の話はまあまあ理解できたが、安全性は理解できない／生活者の視点がない／安全性についてわかるが、当たり前だという学者の話は理解できない／核廃棄物の処理はどうする。安全広報のパネラーが真実を曲げている／玄海3号機は全国に先駆け試験的ではないか／コーディネーターの中には会場の人をバカにした発言があった。こちらは必死で発言しているのに失礼だと思った／安全といわれることが信頼できない／学者の説明でバカにされるような気がした／安全でないことが理解できた／安全性を証明できなかった／テーマについて絞られすぎ。地元としての安全性の不安は将来の確定も含めてのこと／ますます不安は募るばかり。絶対反対／大橋氏ははじめから原子炉が壊れるなんて事はない、放射能影響事故はないと発言。これでは議論にならない。国の防衛訓練はなぜしているのか／日本国内での実証試験も十分なされていない中で、安全性も十分に確認されているとは考えられない。直ぐに中止すべき／プルスーマル推進派が技術的詳細を出す矛盾している／大橋氏の説明は専門的表現で全く理解できない。他のパネラーの批判多すぎ／想定外の安全性を前提に詳細を国は検討を行っていない／安全性の主張があまりにも独善的。あの主張がただしければもんじゅも美浜も事故は起きないはず／パネリストが説明に使う資料は手元資料も必要。後方からは見えない／原発をいつまで設置しておくのか、50年・100年・200年後までも安全といえるのか。必ず後々に負の遺産を残す

※無選択

安全の考え方でディスカッション・パネルでの教示説明／安全であるという意味においては非常に疑問を感じた／具体的に安全であるということの説明がなかった／プルスーマルが安全だということはどうぞだと思った／プルスーマルは理解できたが安全性については／日本列島に続発する事故に対する学術的な解明がなされているのか、推進派の説明に疑問／賛成派・反対派がそれぞれ意見を述べていて話しが平行線／何度話し合いを持っても意味のないということ東大の先生

が言っているのか。プルサーマル地元で家族で子供・子孫をつれて住んでみる

Q5. この討論会を聴いて、「プルサーマルの安全性」について、あなたの理解は深まりましたか。どのような点でそう感じましたか。

1. そう感じる

研究等でも問題がない／ウラン燃料だけでもプルトニウムはできているし、実際に燃えてもいる。最初から MOX 燃料として原子炉に入れても現在と何も変わらない／安全対策は十分に考慮されている／時代と共に変わっていく技術を持って安全性の理由付けを行うし、過去のデータを積み上げてみてもそれをもとに判断してはいけない／安全に運転してもらいたい／プルサーマル自体は賛成／実績・経験・プルサーマルに関する技術的な根拠／丁寧な説明や安全についての考え方・管理の仕方など理解が深まった／反対派の主張は確率的に起きもしないことを「起きるとすれば…」という論調で恐怖をあおっているだけ／危険ではあるが、システムおよび管理体制を適正に実施することで安全は保たれる／定量的な説明／平行線で論点をはっきりしない点／推進派の説明を聞いて非常によく検証されている／反対の意見も聞いてより深まった／技術的などあらゆる角度から分析されていた／現状の軽水炉と安全性はわからないことが理解できた／ますます反対の気持ちが強くなった／理論的な説明がなされた／反対のための反対を許してはならない／安全は自分たちで守らなければいけないし、事故を想定しては何もできない／パネラーの説明がよかった／技術者・電力者の技術を信じ、エネルギー確保すべき。大昔の生活には戻れない／絶対はないけれど外国の実例やパネリストの説明によって／安全度は保たれている／安全協定の承認は急ぐべき／プルサーマルの安全性について／説明はわかりやすかった／九電・国に加え今回県の討論会を開いて、九電・国の際に議論となっていたことが整理されて理解することができた／いろいろな質疑応答で理解が深まった／日本の科学者の力量を信じる。実験済みだ／日本の技術レベルできちんと管理された場合安全に問題ないと理解した／はっきりといわれる先生方がよかった／慎重派の言っていることが根拠のないものだということがわかった／融点等、相違点が明確で不安は払拭できた！／反対派の意見にしっかり反論されたことから／プルサーマルは技術的に安全性が確保できると感じた。データをきちんと示して納得できる／確率論的安全評価の説明はよく納得できる／推進・反対の意見を聞き、理解できた／富化度の話がわかり安心した／プルサーマルは導入すべき／理論的な反対論がない／聞けばわかる／話のあった議題については理解できた／プルサーマル燃料とウラン燃料と本質的に差はない／出光・大橋・森本氏の説明／慎重派といわれている人の意見は原子力自体にスポットを当てている。プルサーマル自体では安全性に問題ないことがわかった／一人ひとりの話しが時間の制約で短いため、「理解する」というところまでにはいかない。言っていることはわかるが…／今まで何回でも聞いているので最初は専門用語の理解できなかったけれど、MOX 燃料と対する安全対策について、理解できた／ウランとあまりかわらない／「規定された安全基準の範囲の中で、多少の危険度は増すが、安全性は現在の原子力技術で保障できる」と理解した／反対派はありえないことや過去の人為的事故をさもプルサーマルが悪いように言われる。感情で言われる人は討論会／パネリストからははずすべき／制御棒の効きが悪いといわれたが、制御、十分の停止というが、制御棒は停止棒としてつかっている。自動車も薬もその他人が作ったものに絶対安全はない／どの意見に対してもわかりやすい回答・バックデータも充実／ヒューマンエラーをなくすための努力をしていただきたい／基本的に現在のウラン核燃料と変わらないのに、何を騒ぐのかわからないが、実績という裏づけは意味がある／危険なことは危険だがしっかり管理すれば今の原発と何も変わらないのではないか！／安全だということ／慎重派は想定意見が多い。何でも反対ではだめ。エネルギー問題で対策のひとつもない。賛成・推進の人は事故等も考えたことについても発言している／今もプルサーマルを行おうとした場合も危険性を考えてきちんと対応されている点／3 回の公開討論会を通じて、プルサーマルの安全性をよく理解できた。もう十分議論は尽くされた／絶対的な危険が論じられなかった／大変理解が深まった／反対派のパネリストは危険なものはすべて“悪”。本当にそれで地球を守れるのか／現行と同じ／九電に対する必要性で十分／技術的な検証・理論に基づいて話しをされていたので安全性への理解は深まった／いままで原爆などと結びつけて考えていたが、プルサーマルはそのようなものとは全く別物であることが理解できた／人間の教育とやる気を起こす環境づくり／質問の時間も十分あり、回答も丁寧／不要な評論者の意見は無視すべき／危険である根拠がない／日本の技術力とリスク管理は高い／質疑応答を通して考え方を聞くことができた／危険危険といっても進歩はない。時刻の技術を云々するのも大事だが、森本氏の話のとおり近くの外国の影響がどうかもっと考えなければならぬ／反対派はいつも同じ／意見を聞くが決定がない／安全性については今回の討論会が一番わかりやすかった／世界的にもすでにかな

りの実績があり、特に新しいものでもない／安全性については議論は尽きない。現状での日本の技術をどこまで信用するか／現在の原発とプルサーマル燃料原発との違いを具体的な数値・取り扱い方法・その他のリスクを明確にされていない。説明不足

2. だいたいそう感じる

実験・実績に基づき判断されている／原子力の事故の説明で絶対には安全といえないという根拠をすることができた／専門家が想定した事故率が低いといわれたから／危険≠不安全／何もしなかったら始まらない／安全・危険それぞれ意見が聞けて、知識が深まった。参加者の質問も理解を深めた／議論の論点を主張している推進派とあげ足をとろうとする反対派の話を聞いて、大橋・出光先生の説明はわかりやすく、議論もすぐれていた／万一に備えて対策がとられている／事故を想定し、解析および試験をしていること／具体的なことを挙げられたので／プルサーマルに関する安全は理解できたが実施に向けてさらに安全に努めて欲しい／人為的ミスを心がけるべき／講師の話がよかった／富化度・融点などいろいろな話がきけた／テロの件について／講師の研究／みんなが十分勉強している、よって討論している／データ上の説明が重要だと思う／出光・大橋氏の両先生がより詳しく述べられたこと／想定と仮想で迷っていた／一般的な話の程度でよかった／安全性も大切であるが信頼することも大切である／老人にもわかる説明が今一步／安全でないこと／危険度が多すぎるように感じた／根拠ある事故予想に対する安全第一については理解できる。ただそれ以外の更なる予想策については会うのかが疑問／専門用語はわからないが、安全性は理解できた／安全が 100%なんてありえないから、別にやってもよい／取り扱いの問題で安全という問題でない／原子力の平和利用は進めるべき／賛成派の先生のほうが説得力があったような気がする／反対者のスリーマイル事故の認識について誤りがある／管理ができていれば事故はありえない／将来技術は研究改善に努められる／何回も勉強会に出席したので、今日はおさらい的／専門家でないので専門家の討論を信じるしかない／少し言葉足らずであったが、安全性について理解できた

3. どちらともいえない

安全性・必要性については、討論会の場合だけでなく地道な広報活動が必要／プルサーマルは使用済み燃料の処理も含めて討論して欲しい／何を信じたらいいのか…／技術的に言いたい意味は理解できるが、無理なこじつけばかり／国防の方の話に同感／事故ばかり考えれば何もできないが危険でないとはいえない／やってみないとわからない／議論を通して安全性に確信が持てない／専門家の間でも議論があるようだ／推進派・慎重派どちらを信じてよいかわからない／話を結論までもっと突っ込んで持っていかないので／徹底的に安全性に十分技術を優先に施して欲しい／疑問である／どちらの意見を信じてよいかわからないところもあった／国が責任を持って取り組むべき／まだ討論すべきだと思う／何回聞いても推進派と慎重派の意見が平行線であり進展がない／技術的には安全かもしれないが、実際稼動したときの安全が不安／脱線しすぎて何がどうなのかわからなかったのもっと簡単な説明が欲しい／どちらの意見が正しいのか。難しい。自分なりに学習し判断できる力をつけなければならない／双方の意見がかみ合わず進まない／国の安全値というのは計算の仕方が変わるとのこと／まだまだこのような機会が必要／パネラーの意見が対立している／地震が多い時期に話を進めるべきでない／安全性が保障されていない／推進派・慎重派の両者の論理は両方とも説得力があった／安全といわれればそうかなと思うし、危険といわれればなるほどと思う／地域住民に説明願いたい／専門的なことであまり理解できなかった／賛成派・反対派どちらもなるほどと思う。絶対ないといわれたことがおきている。国も無害を発表しなければならない／技術的専門家の中で意見がわかれているものについて、素人では判断が困難。確率論で安全性を論ずるのは原発の事故時の影響度合いを考えると意味がない。交通事故と比べると意味なし／内容が難しすぎる。一般市民には理解しがたい／大学の先生の意見もわかれている

4. あまりそう感じない

過信だと思う。事故は起こっている／もともと十分理解しているつもりだったから／他で頓挫しているのにあえて玄海町で日本で初めて導入することがわからない／まだまだ討論会そのものが少ない。九電が1回、国が1回、県が1回では無理。少し長い時間でじっくり安全性について討議していきたい／専門家の話はどちらも正しく聞こえた／事故発生の可能

性が十分ある／なんで急ぐのか。九電の経済的なリスクを侵してまでの導入が理解できない／外国よりプルトニウム含有率が高いので必ずしも安全といえるデータがない／参加者からの質疑応答の時間が少ない。もっと聞きたいことがある人がたくさんいたはず／福島で国の安全基準が通ったのに運転していないことが危険であることの証明か／推進派は安全神話を主張したが、責任は事故があったときに誰が取るのか。推進者の学者の責任はどうするのかは誰も答えていない

5. 感じない

一方的に安全論を言う人がいてそれが逆に怖い／推進派は技術論のみであり、危険性を前提の話でない。居住する者の立場に立った説明をすべき／パネラーの大橋教授がプルトニウムの毒性について都合のいいことしか言っていなかった。これは今まで安全といわれてきたすべてのことにうそが含まれているということ。この設問は問題。理解が深まっていたら、知事はYESというのか／あれこれ工夫しないとできないところで人間はミスをする動物なので複雑すぎる操作は怖い／安全神話のばらまき／学者だけの討論で一般市民の安全に対する認識を深めるところが少ない／安全とは思わない。この世の中に絶対安全ということはない。現在いろいろと世の中で安全であるといわれてきたものが事故が起きている。性善説であったものが崩れてきていると思う／実績が日本にほとんどないのに安全と思えない／国が信じられない／安全性変わらなくてもコストが高いんでしょう。その支払いを強制されるのは否／事故は必ず起こる／大橋氏の理論では原発で重大事故が起きるのは大きな隕石が地球にぶつかるのと同じ確率だと机上論優先でいわれるが現実問題として事故が多発している／安全でないということに理解が深まった／出されたデータが一部不完全。技術への安全神話が強い。問題点もすべて出して欲しい／推進に都合のよいところのみを言う人の発言を信用できない／今電力供給もプルサーマルを実施しなくともするのになぜプルサーマルに固執するのかがわからない。再処理をやめてゴミを出さないことが重要／推進派の人選をもっと考えて欲しい。まともな議論にならない。あと2~3回は開いて欲しい／危険であることがいっそう心配／ディスカッションでの議論の内容が理解できない／白羽の矢が立ってしまった唐津・佐賀県だからこそきっぱりとプルサーマルを受けとらないことを国に訴えて欲しい／安全性が確立されていない点を多く感じる／安全PRに終始する前者を選定したことが問題／やはり技術問題で集落単位の説明が必要／原発そのものが安全とは思えない／安全性を主張する際に都合のいい情報だけを使っている／国・事業者・パネリストの発言は信頼できない

※無選択

プルサーマルは安全ではないことがわかった／海外での運転実績／安全というよりも危険であると感じた。「安全だ安全だ」と声高に言われれば言われるほど何か都合の悪いことは隠されているのではないかと思う／MOX燃料も従来の燃料とほとんど変わらないと感じた／ますます安全性に疑問を持った／危険性が増大した／森本氏は原子力の知識を有しない人物。テロに関して知識はあるかもしれないが、プルサーマルの安全性についてパネリストに呼んだ意味が全くわからない／いっそう危険を感じた

Q6. 「プルサーマル公開討論会」の開催を何で知りましたか。

6. その他

TVニュース／職場／議会／町から／行政通知／ラジオ放送／会社からの紹介／株主／自治体／会社内／市報／会社／組合／機関連絡

■口プルサーマル公開討論会アンケートにおける自由意見口■

今回の「プルサーマル公開討論会」に参加して、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。

- ・ 原子炉格納容器もなかった(計画されていない)スリーマイル(ソ連)と比較されて論議が進むとは・・・と疑問に思った。日本と同一レベルの技術で話が進むのか疑問。(唐津市/男性)
- ・ 質疑応答について、慎重派の質問は重複していることが多かった。限られた時間なので質問が重なったときは、コーディネーターで質問を却下してはどうか。(唐津市/男性/30代)
- ・ 今の日本では原子力は必要。どのような技術でも危険はある。要はどうやって管理するか。推進派の説明は論理的にわかりやすかった。慎重派の意見はあまり根拠のない数値を並べたて不安感をあおるような説明を感じた。質疑では慎重派は感情的、冷静な議論をすべき。(唐津市/男性/40代)
- ・ 反対派は毎回同じ質問ばかり。このような討論会を何度しても理解は深まらない。今回でやめてもよいのでは。(玄海町/男性/50代)
- ・ 話を聞くまでは絶対危ないと思っていた。周りの人の話など、内容がわからないままのみにしてしまうこともある。でも、危ないからといっても何もできない。前向きに考えなければならない。事故が起きたらどうするかとか、それは人間がすることであって、何にしても完璧で絶対ということはない。事故が起きないようにみんなの協力真剣さが必要。(玄海町/40代)
- ・ 資料の年度の違いにより食い違いが多かった。パネリストはあらかじめすべて用意する必要がある。募集の段階で事前に当日質問したい資料を聞いておく必要もある。大橋先生は反対派に対してははっきり意見を言われていたので良かった。どうしてもこういった討論会では反対派は野次を言いやすく、推進派は言いにくい。(唐津市/男性/20代)
- ・ 現在の国のエネルギー対策は間違っている。プルサーマルについても現在の政策の中で必要なもの。日本の科学技術を信頼するしかない。国・行政を信頼できる対応を。(佐賀県/男性/40代)
- ・ 推進派は事実に基づき冷静に説明。反対派は理論性とは離れたところで多くの場合は半端な知識に基づく勝手な解釈で感情的な意見を述べるだけ。これでは何度討論しても時間の無駄。地元の反対派の気持ちはわかるがもっと論理的な議論をすべき。いくら説明してもわかろうとしないのかアホが多すぎる。プルサーマルの討論会なのに原子力発電所そのものに反対する質問・意見ばかりでパネリストの糾弾集会になってしまった。原子力反対派は何でも反対、説明も全く聞かない。だから説明したことを何回も聞く。疲れた。さびしくなった。(佐賀県/男性/40代)
- ・ 後ろからではスクリーンが見えない。もっと大きく表示して欲しい。あおるような反対派のパネリストはいかがなものか。原子力だけの専門家の中に森本所長のような人がいて違う視点からの意見が良かった。くれぐれも議論の主旨をはき違えないように、会場の人に何度となく伝えるべき。慎重派の私語多すぎ。“公平な質問”の意見を言われた方に賛成。(唐津市/女性/40代)
- ・ わが国のエネルギー情勢は自給率が4%と低い状態。現在は地球規模で温暖化に努めている。化石燃料を減らすには原子力が必要。技術的には確立され、実績がある。プルサーマルをぜひ進めるべき。(唐津市/男性/50代)
- ・ もっと素人わかりする事故想定がなぜ安全なのか説明して欲しい。プルサーマルや原子力発電所など補助金がでるのか。想定される事故およびなぜ安全なのか、ケースごとにわかりやすく公開して欲しい。(佐賀県/男性/50代)
- ・ プルサーマルの安全性についてよく理解できた。反対説の不確定要素の話は市民を混乱させる。(唐津市/男性/40代)
- ・ 安全に絶対はないということを常に頭に入れて科学的には確立されていても、人的に害のない様に十分に年数なり検討なりされて実行されて欲しい。(唐津市/男性/50代)
- ・ 海外の原子力関連事故に対して、国内の事故事象をはかつてはいけない。なぜなら施設のつくりや世界で唯一の被爆国として負の遺産をうけたがゆえに安全性については世界でトップの技術や英知をもって対処していくため。また、日本は京都議定書によるCO₂排出規制抑制の観点からも化石燃料の使用をやめることが絶対で、反対派の「ある事象に対しての」風評に誇大な判定・判断をしていることには開いた口がふさがらずともあきれた。それにタバコの話になると吸わない人が悪いみたいと言うし、タバコのけむりはわたしにとっては迷惑千万。燃料自給率が低い日本で唯一文化的な生活をこれからも続けようと思うならプルトニウムを使用すべきと強く思う。それを反対するなら平安

時代のように千年前の生活に戻るが良い!!この現代社会にあつてプルサーマル計画に反対する人たちはすべて自力でやっていく千年前の生活は到底できまい!!もしそれができた上で反対するならそれも仕方がない。しかしプルサーマルは必ず時代の流れによって必要だ!! (唐津市/男性/50代)

- ・ 東京に住んでおられる科学者にとっては、遠い玄海での“プルサーマル”は“ひとつの科学的事象”だろうが、佐賀に住んでいる私にとっては、現実には怖いもの。小さな事故でもあつて欲しくないし、大きい事故だということになるのか、そこを知りたい。それにしても、プルトニウムは安全という大橋先生の発言は意味がわからない。長崎市に育ち、たくさんの被爆者と見てきた者として、一部のデータだけを全部のことに言うことへの不信感と佐賀県民をバカにしているのではないかと不快に感じる。とにかく、プルサーマルは絶対にやめて欲しい。せめてもう少し少ない段階での実績を積んでから考えて欲しい。(佐賀県/女性/40代)
- ・ 安全性の説明はとても論理的で説得力があつた。現在ここまで電気に依存して生活している以上原子力発電もやむなしとの意見である。この説明どおりに運転して、電気を作つて欲しい。危険性の説明は感情論が多い。説明も重箱の隅をつつく感じがいなめない。また、断定する言葉が多すぎる。佐賀県も早期に九電に対してプルサーマルの許可を与えて欲しい。それが県への利益にもなる。(佐賀県/男性/30代)
- ・ 96%海外に頼っている日本のエネルギー資源の無い島国が将来のエネルギーを何に求めようとしているのか。新エネルギーではまだまだ日本の産業は成り立たない事はわかりきつたことであるし、どこまで上がるかわからない油には限度がある上に政情不安定。ウラン燃料を使用する原子力発電所、安全第一でなければ認められないことは立地町の我々が一番感じるし、30年の付き合いでもある。日本の原子力技術は世界で有数であり、平和的利用は世界一ではないか。プルサーマル計画については、フランスの原子力発電所を視察して、今も心に残っている言葉に「原子力発電の反対はわかるけれどプルサーマルに反対されるのはなぜかわからない」といわれた。反対される先生方に一言、化石燃料があるから原子力はいらなくなると言われるが、今はそれでいいかも知れないが、将来世界的に見てエネルギー問題が済むと思っているのか、エネルギー技術が2・3年でできあがる技術ではないことは一番わかっているのでは。平和的利用の世界一の日本が戦争をするのか。それだけの知識があるなら、危ないと思うところを直す方向に行つて、みんなで安全性を確立すれば、日本のエネルギー問題は明るい日差しが見えてくるだろう。(玄海町/男性/60代)
- ・ 賛成・反対、パネルディスカッションを聞いてわからない。(玄海町/男性/40代)
- ・ 周辺諸国の原子力の安全性有無の発言がありそう感じる。他国への安全性をこれからは考えるべき時代。(唐津市/男性/40代)
- ・ 安全性について、かなり理解が進んだ。資源少国にとって、プルサーマルの推進はやるべきと実感。(佐賀県/男性/50代)
- ・ 地球の温暖化・無資源国等の理由により、核燃料リサイクルの確立が必要。(唐津市/男性/50代)
- ・ 質問者のマナーが悪い。プルサーマルの安全性だけなのに他の質問が多すぎる。不規則発言も多すぎる。(玄海町/男性/40代)
- ・ プルサーマルが安全か危険かとの問題を問うよりも、いかに危険と想定されるものを安全側に持つていくかだ。これは原子力やプルサーマルに限つたものではなく、すべてのことにおいていえる。プルサーマルの問題についてもリスクを少なくし我々の許容できるレベルに下げられているかを、また、今後下げようにするのかを考えて欲しい。日本の原子力技術は世界でもトップと思う。事故故障のないよう技術力のさらなる向上の上安全なプルサーマルの確立をお願いしたい。(唐津市/男性/50代)
- ・ 小出氏・小山氏は技術的および定量的な評価がなく情緒的なアプローチであり、原子力=危険と思わせている。おそらく彼らは原子力のみでなくあらゆる科学技術に対してもすべて否定することだろう。(唐津市/男性/40代)
- ・ 反対の先生方の話を聞いて勉強になった。まだまだ不安のところが多すぎる。(唐津市/50代)
- ・ 危険だから不安全ではない。MOX燃料を使う九電に万全な管理をお願いしたい。推進派と反対派はいつまでもひとつにはなれない。質問内容は同じような質問ははずして欲しい。なんのためのディスカッションかわからない。(唐津市/男性/40代)
- ・ パネルディスカッションをしなくて全部質問の時間がよい。(唐津市/女性/30代)
- ・ 住民にわかりやすい、参加証を発行しなくても誰もが聞ける討論会を何回もすべき。大橋さんの回答は、住民もわからないから質問しているのに回答になっていない。もっと親切に回答すべき。(唐津市/女性/50代)
- ・ プルサーマルを含めた、核燃料サイクル(使用済み燃料の最終処理)を検討する時期。(唐津市/男性/40代)

- ・ パネリストの様々な方面からの見知が大変参考になった。安全性については、どこに基準を置くのかということになるが、立地箇所近辺に住む私たちの立場からすると、絶対に事故は起こしてはいけけないので、設備の保守・管理を適正に実施してもらい、何かあった場合、迅速・的確に情報を公開してもらうことが重要。また、事業者側がデータの改ざん等安全よりも利益を優先することがないようにして欲しい。(国の審査等) (唐津市/男性/20代)
- ・ 危険性があるから、国・九電から原発設置自治体に金がいくようになっていく。人口が少ないところで実験的に原子力対策を実行推進しているように感じる。電力需要度の高い大都市に原発を設置し、プルサーマル計画を推進すればよい。(佐賀県/男性/40代)
- ・ 反対論者は全体的に漠然とした定性的な説明が多く、「だからプルサーマルは危険だ、反対だ」という結論に賛同しがたい。(玄海町/男性/30代)
- ・ マスコミのフラッシュがうざい。賛成・反対・両派の拍手がジャマ。パソコンの画面が見えない。論点がずれたり、広がったりしている。インターネット等で事前の資料等をオープンにして欲しい。小出氏は全員が高度な知識を持っていると思っているのか、突然難しいところから話が始まり、わかりづらかった。ディスカッション全体としては専門家にわかりやすく議論してもらいとても有意義であった。廃棄物の処理については2010年から考えるのでは遅い。廃棄物の処理方法まで一体として回答を出してからの運用が正しい。せつかくの機会が一部のアツクなった人のせいで暴走した質疑応答は残念。(唐津市/男性/30代)
- ・ 資源の少ない日本にとって将来のエネルギー問題を左右する重要な課題であり深い議論が必要。(唐津市/男性/40代)
- ・ 講師6人は多い。せめて4人。はじめに論点を絞って進行させてもよい。県が国の見解を丸のみする必要は無い。県民の安全を守る立場から、態度表明すべき。せめて、「ちょっと、待った」として、県独自の研究・対策作りなどをすべき。古川知事は「手続き」をすませたから「OK」とすべきでない。(佐賀県/男性/30代)
- ・ 細かな揚げ足取り的な質問はよくない。(佐賀県/男性/40代)
- ・ 小出助手の意見を聞いているとプルサーマル反対というより原発自体に反対であるとの考えをもとに発言していたので、自分では計画や計算には余裕が必要であると発言しながら話の内容は完全でなければならぬと聞こえた。何事も完全はありえない。それを否定すれば何をするにしても実現不可能。出光教授や大橋教授は学者として正當にプルサーマルについての発言をしていた。さすが日本トップの大学の研究者だと思った。小山代表がさかんに関西電力の不誠実さや隠蔽内容を参考にしての発言をしていたが、九州電力はいままで隠蔽や不誠実な対応はなかったと思う。データにも九州電力のデータが少なく、問題となるデータも関西電力等のデータが多かったと思う。もし九州電力のプルサーマルに反対なら、もっと九州電力に踏み込んでもらいたい。九州電力と他の電力会社ではどうちがうのか運営についてはすべてが電力会社の考え方・取り組みが大切だと思う。今までの事故はその部分が原因では。私はプルサーマル計画を玄海発電所でやるほうに賛成。(佐賀県/男性/50代)
- ・ 自動停止するなら、地震は関係ないのでは。(唐津市/女性/30代)
- ・ 危険度は若干あるかもしれないが現代社会に電気は必要なものと思われるので仕方ない。環境の面から考えても、「京都議定書」にて二酸化炭素の量を6%下げるといっているが、現実にはそのときよりも8%増加していると聞く。現代の生活レベルを14%下げることができるのか。玄海のことに加えて青森・岩手の住民もよくわからないまま2010年に決定！は見切り発車だったのでは。(唐津市/女性/20代)
- ・ このような世論を高める公開討論会の開催を数多く設け、住民が納得のできる結論に至るまでと思う。何しろ問題は人命に関わる問題なのだから。(唐津市/女性/40代)
- ・ 学者の意見は安全となっているが、住民感情としてはプルサーマルだけでなく原発の安全性にはやっぱり不安がある。(佐賀県/男性/60代)
- ・ 今までTVの宣伝などを見て、プルサーマルは安全だ!!と思っていたが、自分の浅はかさを思い知った。絶対にプルサーマルはやらないで欲しい。あまりに問題が大きすぎる。(唐津市/女性/40代)
- ・ プルサーマル計画に賛成。反対派の言う想定外の事故を言えばきりが無い。ぜひプルサーマル計画をやりましょう!(唐津市/男性/20代)
- ・ 慎重派・反対派の質問はパネリストが何回も回答されたことを繰り返しているだけで理解しようとしていない。したがって何回このような討論会を行っても一緒では。このような討論会にも我々の税金が使われている。コーディネーターの中村さんは公平で非常によかった。(唐津市/男性/40代)

- ・ 何度かプルサーマル説明会等に参加しているが…必要性・安全性は私自身はある程度理解しようと思っているが、一度時間関係なく会場との質疑応答してみたほうがいいのでは。いつも会場の人が意見を言いたいけど、時間なくいえないまま、不安・不満が残ったままなので、プルサーマル必要性に理解しないのでは。それか一般の人の一部パネラーに出させてみては。 (玄海町/女性/30代)
- ・ 安全なプルサーマルを推進してください。 (佐賀県/40代)
- ・ 技術的な安全性について理解できた。 (唐津市/男性/40代)
- ・ 推進する側の説明の合理性は納得できるがその説明を反対の立場の方々から理解を示そうとしないことが残念。国の厳格なチェックを終えた段階であることから、県が自身を持ってGOを出す努力をして欲しい。 (唐津市/男性/40代)
- ・ 感情的な話が多くて残念。もう少し冷静な話し合いを希望。何事もすべてが安全でないと思う。しかし、チェックを行うことによって、災害0を目指せると感じた。また、反対派の方がいてその方々のチェックがあることでさらに安全が成り立つのではないかと思った。 (唐津市/男性/30代)
- ・ 県は中立といっているが、行政の長たる古川知事が第三者のような発言ははなはだ疑問。県が今までプルサーマルの客観的な資料に基づく情報を県民に提供したことがあるのか。福島県のように(中間まとめ)県が主催した22回(今も続いている)エネルギー政策の考え方をまとめて県民へ提供したようにせよ。この会をプルサーマルへの通過儀礼だけにはするな。県民が理解するまで何度も討論会を開くことを望む。講師への疑問。大橋氏・イエスマンこそ情緒的。森本氏・別のところで講演してくれ。テロと原発。周辺国からの侵略。アメリカのテロは。今回は今までと違って賛成意見が多いのはなぜ。そんなに安全なら東京電力・関西電力でまずどうぞ。 (唐津市/男性/60代)
- ・ プルサーマル計画について何度か話を聞いてきたが、よく内容が理解されたし、今度の意義も納得した。改めて計画の進め方について慎重かつ決断のときかと思った。反対者の心配もわかるが日本の専門家が電力会社の努力・実績を少しは理解して歩み寄ることが必要では。 (玄海町/男性/40代)
- ・ 自分が生まれ育った町にどんなものが持ち込まれようとしているのか知りたくて来た。今回の討論会に参加して思ったのは、国の思惑、技術者の思惑など私たちの力の及ばない遠いところで決められたことで小さな町または近隣が危険にさらされようとしていることだ。人間のすることに絶対があるのか。いくら理論的に説明されても技術を過信しているという思いはぬぐいきれない。そして、ものごとは一方からだけでなくいろいろな面から考えるべき。これもどこかの都市かもしれないが最初から安全性を探るための討論は安全を証明するための安全解析と同じで意味はない。危険性を訴えている人の話をもっと聞きたいと思う。今回も話を深まったとは思わない。さらに深まる討論会の開催を望む。 (唐津市/女性/30代)
- ・ 今回は安全面だけの討論だったが経済面など総合的に考えてみてもプルサーマルはリスクが多すぎ。原子力にたよらない(自然エネルギー・燃料電池など)国はお金をかけるべきだと考える。古川知事が正しい判断をされますように。東京に住む大橋氏の話は他人事に聞こえる。質問者の意見をもっと聞きたいと思った。質問が重なったのが残念。 (佐賀県/女性/40代)
- ・ 反対派の意見は感情的なもので技術的根拠あるものではなかった。また質問者の中には特に反対派の質問者は感情的なものが多かった。こういった説明会、その中で議論というのはやはり冷静な説明・議論により参加者は安全性を判断できるもの。そういう意味ではプルサーマルの安全性は確保できるという説明は納得できるものであった。 (佐賀県/男性/40代)
- ・ この程度の話では結論はでない。 (唐津市/男性/50代)
- ・ 討論会の前に「プルサーマル」について、もう少し時間をかけて説明した方がよい。原子力やプルサーマルについての理解が結局一般の人々に伝わっていないように感じた。 (唐津市/女性/20代)
- ・ パネリスト間の議論がかみ合っていない。慎重派はプルサーマルの危険性をあまりすぎている。 (唐津市/男性/30代)
- ・ 質疑の中で、肯定されていると思われる方からの質問が現実性に近いのではないかと思うし、その質問に否定される方も反論されなかったので理解できた。 (唐津市/男性/40代)
- ・ 何事もうそはいけないと思う。 (唐津市/女性/30代)
- ・ 国策としてどう取り扱うのが基本的な問題ではないか。具体的には今プルサーマルを入れないといけないエネルギー事情なのか。現状のウラン燃料では不可能なのか。今までの過去の説明会でもこうした原因だからプルサーマルを

議論するのだという根拠が示されていない！ウランが本当に足りなくなり再生ウランを使わないといけないという説明だけではあまり納得できない。（唐津市／男性／50代）

- ・ 慎重派を説得することはできない。慎重派の人で感情的になる人が多い。過去の運転実績を見れば、プルサーマルを導入してもよいのでは。（唐津市／男性／40代）
- ・ いろいろな話が聞けてよかった。プルサーマルニは賛成。（唐津市／男性／40代）
- ・ 過去の質問に対する回答ができていないとの質問があった。参加者からの質問については都度解答が確実にできるようにしてほしい。（唐津市／男性／50代）
- ・ 日本のエネルギー事情からプルサーマル計画は推進すべき。慎重派の意見は抽象的ばかり。具体的なデータを示すわけではない。もう少し科学的に説明してほしい。プルサーマルの安全性について議論すべきなのに違った話をしている。（佐賀県／男性／50代）
- ・ 反対意見は事故の評価をプルサーマルとかかわらないところで論じている（小出氏）。（唐津市／男性／40代）
- ・ 安全に絶対はない。しかし、限りなく安全を確保することは可能だと考える。（佐賀県／男性／50代）
- ・ いろいろな意見があつて勉強になった。プルサーマルの安全性がよくわかった。エネルギーの乏しい日本にとってすばらしいエネルギーが原子力だと思ふ。県の方々の話はないのか。中立の立場だからしょうがないのか。（玄海町／男性／20代）
- ・ 会場舞台設置が悪い。会場内の照明が悪い。出光パネラーの参加者への資料不足。専門用語ばかりでわかりにくい。玄海原子力発電所3号機プルサーマル計画の安全性が100%佐賀県民に理解できることを示して納得した上で、九電・国・県・市・玄海町が安全協定を結んだ上で工事承認をどうするか十分に検討してほしい。（唐津市／男性／50代）
- ・ パネラーの発言について、反対のための反対である気がする。一寸おかしい。事故発生の対策特に弱者対策について明らかにしてほしい。会場の喫煙室の換気が欲しい。廊下でモーモーとたちすぎる。（佐賀県／男性／80代以上）
- ・ 情報公開をもっと徹底させて欲しい。質問者には一人一質問に限定させる。（唐津市／男性／50代）
- ・ 森本氏を呼んだ意図がわからない。プルサーマル安全性には直接関係ない。あとで修正されたがイスラムへの偏見を再生産するものだと思う。（佐賀県／男性／50代）
- ・ 資源の少ない日本ではプルサーマルは必要。知事は英断をしてプルサーマルを進めて欲しい。説明にたとえ話がありわかりやすかった。プルサーマルを進めて欲しい。（唐津市／男性／50代）
- ・ 県主催なのに県の担当者がいない。「プルサーマル」ではなく原子力政策の討論になっている。焦点がずれている。（唐津市／男性／30代）
- ・ 慎重派・推進派のいい分が全く反対で理解しにくい。どちらが正しいかわからない。（佐賀県／男性／40代）
- ・ 今地球は人口増大、資源の枯渇、地球温暖化という大きな問題をかかえエネルギーをいかに確保してこの先を人類が生きていくかという、ウラン燃料を再利用してもう一度二度と燃料を使用するしかないと思う。エネルギー自給率3%、資源のほとんどはこの100年間でかかれてしまう化石燃料はCO₂を発生する。私たちはこの地球、また将来の人たちのためにまずプルサーマルを行って少しずつウラン燃料の再利用を図っていくことが資源の無い日本の地球の上に住む人の責務だと思う。そのためにも電力に安全・安心を十分にお願ひして、進めて欲しい。（唐津市／男性／50代）
- ・ これまで必要性や安全性について、だいぶ理解できたが使用済みMOX燃料や再処理、バックエンドのコストなど運転後のことが気になるところで国はその解決を早めに検討・方針決定をして欲しい。（唐津市／男性／40代）
- ・ 慎重派の考えは「反原発」ありきである。そのような方との意見の一致は不可能である。資源のリサイクルは社会の継続的發展を推進していくためには不可欠だ。ヨーロッパ等における実績もあること・科学の実績もあることから問題はない。慎重派の言うことは極端すぎる。科学を否定し車にも乗れないような理屈である。（佐賀県／男性／40代）
- ・ 欠陥車での交通事故も含めてまた、欠陥車でもなくてもドライバーのモラル等での事故発生率も向上していると思われる。したがって原子力発電所の安全性についても建設当時および運転開始後も点検時の人為的ミスのない体制を守るべき。（佐賀県／男性／60代）
- ・ 講師の話しはわかりやすかった。質問者へも丁寧に答えられて良かった。質問者が講師の話聞いた質問ではなかった。推進派の質問ももっとほしかった。（玄海町／男性／50代）
- ・ プルサーマルに関する技術的な討論は理解が難しい。したがって地元玄海町・佐賀県の責任者の承認だけである。最

後は知事の判断しかない。難しい判断は今説明される状況は10から20年前のはなしである。最後は町長・知事の判断である。（唐津市／男性／80代以上）

- ・ プルサーマルの安全性が確認できたと思う。資源の少ない日本にとっては、資源のリサイクルは必要不可欠なことであり、ぜひ実現して欲しい。（唐津市／男性／40代）
- ・ 慎重派・反対派は理解しようとしていないと思う。（唐津市／男性／50代）
- ・ 原子力そのものに対する不安をなくすためにも、小山氏の意見に対する答えをだすべき。（唐津市／男性／50代）
- ・ 他電力でなしえなかったプルトニウム導入の実現を九電にぜひ実施し、今後も安全で安定した電力供給をお願いしたい。コーディネーターの進行が不十分であった。慎重派の質問で一問一答でなくかなりの時間オーバーであり、よい質疑応答でなかった。（唐津市／男性／40代）
- ・ 賛否両論の議論が非常にわかりやすい討論会だった。ぜひプルサーマルを進めて欲しい。（唐津市／男性／50代）
- ・ 安全を第一に考えて働く人が働きやすい環境を作って欲しい。プルサーマルを推進する。（唐津市／女性／40代）
- ・ 電力安定のためプルサーマル推進をお願いする。（唐津市／男性／40代）
- ・ 反対派のマナーの悪いことに驚いた。多くの人に理解してもらうには時間が必要。難しいと思った。（唐津市／女性／40代）
- ・ 佐賀県の討論会なのに佐賀県がいないのは疑問。（唐津市／男性／40代）
- ・ プルサーマルについてはすべて初めての事。佐賀県で行うのではなく、国レベルで国民の意見を問うべき。佐賀県や電力会社まかせてなし崩し的にはじめるのではなく国として納得してから実施すべき。（唐津市／男性／40代）
- ・ プルサーマル討論会は今回のみでは意見が多く回数開催して欲しい。今回の討論会開催前のPRが弱いし、周辺での開催はないのか。佐賀市内等関心がないなら開く必要がないが、そういう投票・アンケートもないのはおかしいのでは。今回の質問は同じような内容が多く、もっとたくさんの意見を聞きたかった。前回玄海町で国主催の話し合いが1回しかなく、今回県主催の討論会も1回ではないですね。安全性はよく理解できた。（唐津市／男性／30代）
- ・ 県主催による公開討論会の会場にて公開討論会に参加できさまざまな意見を肌で感じる事ができ大変よかった。私と同様に参加に希望をしつつも人数制約により参加できなかった人にも本日の内容を伝えたいと思う。一部のルールを守ることでできない慎重派というより何が何でも反対するという方々の存在により公平・公正な討論会とはならなかったことは不満というか悲しいと思った。できればルールを守れない方は退場させるべきだと思う。非常に不愉快であった。全体を通して慎重派・反対派の方が感情的であり、論理的でないと感じた。不安である点は誰しもあると思う。絶対に安全ということはありませんとことであり安全を守るための制度・管理が必要と思う。国・自治体の指導、事業者のたゆまぬ安全に向けた努力などにより安全管理をきちっとしていただければ導入に賛成。出光氏の冷静で論理的な説明により原子力に関する安心感が非常に高まった。（佐賀県／男性／30代）
- ・ 推進派・反対派の論点がよく理解できた。推進派が説明したように、プルサーマルは十分に安全に実施できるものと思う。ただ、反対派のなかでも小出氏が言われるようなことについては必ずしもすべてが現実的でないがこれまでの実績に慢心せずに進めていく必要があり、また十分できると思う。（唐津市／男性／40代）
- ・ 推進派・慎重派双方の意見を聞いてよかった。ただ双方共に相手の意見を受け入れようとしない面が見られた。特に技術的な議論になると感情が先にたつて議論になっていない。もっと冷静な議論が聞きたかった。慎重派の人は感情論でなく技術論で議論すべきと感じた。パネルディスカッションで確認した内容について質疑したり、本当に理解しようとする意識があるのか。自分の考えそぐわないものを信用しないという意識を見直す必要がある。プルサーマルの安全性については理解できたが、今までどおり「安全に絶対はない!」という考えで県も玄海町も九州電力も取り組んで欲しい。（佐賀県／男性／30代）
- ・ 技術的なバックが聞けたことで“安全”と感じた。パネリストもプルサーマルの話をおもしろくないことはマイナスである。質問の人も“ムキ”になりすぎと感じた。（唐津市／男性／30代）
- ・ 急ぐ必要はない。県民の生命を最優先に！（男性／40代）
- ・ 質問は自分の考え方よりも疑問をきいてもらいたかった。一部のパネリストで逆に学術的な立場で高所からものをいう態度は良くないと思う。（唐津市／男性／40代）
- ・ 非常にレベルの高い討論であったと思う。プルサーマル導入を推進する。毎回同様の内容であったが、いつ決定するのか。（唐津市／男性／50代）
- ・ 賛成派・慎重派・反対派それぞれの意見としてはもっともというところはあるが、質疑内容を聞いてみるとまるでか

み合わない。まるで宗教戦争のごとく平行線に終わってしまう。特に安全性について聞かれているが、現在全国の原発は稼動しておりそれらの安全性は確かなのか、すべて疑問に思えるのではエネルギー不足は目に見えているのだから発展的に考えていきたいものだ。（唐津市／男性／40代）

- ・ 講師の方々が考えられていることはどれも日本のためだと感じた。安全のことを突き詰めたらきりがないこともあるし、突き詰めなければならないこともわかるが、推進をしている人が悪いものをつくろう、悪いものをしようとしているとはどうしても思えない。この討論会ではプルサーマルの悪いところを探す会ではないし、メリットも聞きたかった。リスクを考えないつもりはないがリスクを恐れすぎて前に進めないのも問題だと思い、推進を願う。（唐津市／男性／20代）
- ・ 反対派の答弁や反対者の質問者はルールを守って話していない。もう少し規制してもいい。反対派の言っていることは理解できない。国の政策、エネルギーの重要性を考えればプルサーマルは必要である。安全性に議論なされたが、反対派は何か穴を見つけては挑発的に物言を言っている気がしてならない。こういう人の意見は参考としてはいいが平行線であり大人数の意見を取り入れるべきである。今回は推進派の説明を聞く限り安全性は十分確認できたと思う。（唐津市／男性／50代）
- ・ きちんとした管理をして欲しい!!コスト面ではなく安全性を重注して欲しい!!地元の人を大事にして欲しい!!（玄海町／男性／40代）
- ・ 安全な施設だということがわかった。今後も討論会の開催などで安全性を主張され導入されることを願う。（唐津市／男性／30代）
- ・ もう少し時間が欲しかった。質問の時間が短かった。もう少し女性の参加が多くなって、プルサーマルのことを専門の話を聞いて判断し、子供や孫から感謝される世の中になって欲しいと思う。日本は資源の少ない国なので少しずつ自然エネルギーに変化させていって欲しい。東京電力や関西電力が受け入れないのを、どうして九州電力が受け入れの方向でするのか理解できない。もう少しわかりやすい説明を住民にして欲しい。（唐津市／女性／60代）
- ・ 自分の主張を声を高くし出してというのはどうか。自制すべきだと思う。みんなは冷静に聞いているのに。（唐津市／男性／50代）
- ・ パネルの説明に限ると〈慎重派は感情に訴えようとする〉〈問題ないという人はできるだけ技術的に話をしようとする〉話はすれちがっているがいいたいことはだいたいわかった。質疑を含めると安全性の議論がない。「安全性」そのものを議論しようとしても反対のためのネタが感情論に訴えるものしかないということがわかった。総体的に見て安全といえることがわかったと思う。（唐津市／男性／40代）
- ・ できるだけこういう参加して理解を深めたい。（佐賀県／男性／40代）
- ・ プルサーマルの実施によって影響を受ける制御棒能力やプルトニウムスポットなどの点について裕度が若干減少してもそれをきちんと評価したうえで使うのであれば問題ないと思う。私はマスコミや慎重派が雰囲気・感情に訴えて話をする中で、ほんとうに技術的にどうなのかをよく考えなければならないと思う。日本のエネルギーの将来と地球環境を考えればプルサーマルはきちんと進めるべきものであると思う。（唐津市／男性／40代）
- ・ 数十年前、原子力に反対する人は発電所で爆発するとか原爆と同じような発言をされていたかと思うが、現在、原子力発電は貴重なエネルギー源となっている。プルサーマルになっても現在のウランと何ら変わらないとのこと。安心してもいいと考える。危険性ばかりあおることのほうが問題ではないか。現状では九州電力を信頼していけることのほうが重要だと思う。原子力を嫌いな人に好きになれと言っても無理では！（佐賀県／男性／50代）
- ・ 私は一般の主婦。はっきりいって話は難しいが資源の少ない日本にはプルサーマルを考えていくべきかなと思った。とにかく、安全に運転してもらいたいと思う。玄海町には展示会がある。いろいろな事故の説明をパネルでされているが、その点を詳しく説明していただきたい。（唐津市／女性／40代）
- ・ 慎重派のいっていることは、過去の実験データを自分の都合のいいように解釈して、いたずらに不安をあおっているだけだということがよくわかった。国の審査は従来の燃料の違いなどよく検討され、安全性が確保されていることがわかった。資源の有効利用になるプルサーマルを進めて欲しい。（唐津市／男性／40代）
- ・ 今回は安全性を中心に話をされているが、その他の重要な問題はまた討論会を催されるのか。なぜ森本氏がパネリストとして出席したのかわからない。大橋氏はパネリストとして不適格。科学技術だけで社会は成り立っていない。県主催なのに県のパネリストが誰もいないのはおかしい。県に質問できない。（唐津市／男性／40代）
- ・ 出光氏や大橋氏などは大学院の教授という肩書きの人の話にはがっかりした。「まだプルサーマルの安全性について疑

問を持っている人がいるのか」といった人をバカにしている発言には驚いた。学者ならもっと誰にでも納得できるように丁寧に話すべきで、人格的にも信頼できない。森本氏の話もひどいもので、アジアの国々に対して大変失礼な話だと感じた。パネラーとしては不適切だと思う。プルサーマルに反対の立場のパネラーの人の話は誠実でわかりやすいものでした。「安全解析」の話など、驚きました。山内氏の地震活動期の話もなるほどと思った。人間が作ったものに絶対壊れない、安全だというものはないというのが科学の立場ではないだろうか。わたしは、自分はもちろん、みんなが被爆者になることには反対だ。核は恐ろしい。これを消してくれる話は今のところない。原子力発電もだが、プルサーマルには反対である。自然エネルギーの開発や研究を進めて欲しい。コーディネーターの人も、平等に指名していない。誰でも平等にして。ブロック別にあてるなど平等を装いながらあてられなかったのは不服だ。（唐津市／女性／60代）

- ・ 安全性については従来から広く広報等により説明公開されており、今回の討論会でも、正確な資料や根拠を用いて説明され、また技術の何たる科も含めたいへんよく理解ができた。残念だったのは、慎重派の意見が拡散し、今回の焦点である“既設原子炉にMOX燃料使用する場合の安全性”に対する議論が少なかったことだ。公の場で意見をすることは正しい根拠、事実に基づき客観的に発言して欲しい。このような国の政策の根幹を地方自治体が鍵を握ることは大変問題があるように思える。健全でない！反対派は反対のための反対しか思えず、科学的な評価・根拠がなく情緒的であり、これにおもねれば、国家の進路を誤ることになると思う。資源小国である日本でかつ海外でも多数実績があるプルサーマルは絶対必要であり、将来を考えた場合、絶対に判断を誤らないようにして欲しい。声が大きい発言が目立つようだが、決してサイレントマジョリティーの意見を無視しないで欲しい。（玄海町／男性／40代）
- ・ 海外での運転実績からもプルサーマルは未知の分野ではなく十分に安全に運転できると受け止める。資源の少ない日本では有効なエネルギー政策と考える。（玄海町／男性／40代）
- ・ プルサーマルは資源の無い国日本では実施すべきと思っている。安全については確かに常に完全を求めつつ、完全なものが手に入るとは思わない。しかし、最新の知見をしっかりと活用すれば、これまでの原子力発電と同じように管理できると思う。今回は慎重派の方はある意味極端または非常にシンプルなロジックで不安をあおるような方々が多いと感じた。エネルギーや環境問題は世界的な視野で判断すべき重要な問題であり、その点から化石燃料を使い続ければCO₂など地球全体に広がり原子力とどちらが管理しやすいかという面から考えてもよいような問題と思う。安全という面では地球規模の安全を考えてプルサーマルは必要ではないか。（唐津市／50代）
- ・ 化石エネルギーの話は輸入に頼っている日本の立場での話も必要と思った。慎重派には問題と思う部分をはっきり分析して発言すべきと思った。でないとなんか必要性がわからないし、反対するときかかる費用、時間が無駄。裏づけがあれば有効。近隣の人々は基本的に知識が少ない。今回の議題と質問があっていない様子。反対派の理解度を計らなければ会議に入っても無駄では。（佐賀県／男性／30代）
- ・ 森本氏の言葉で、日本の技術的な信頼の話をや取りしているという件、技術の低い中国や北朝鮮の原発、核実験について気になってきた。佐賀は日本の中でも中国方面に近いこともあるので怖いと感じている。前回の国主催のプルサーマル公開討論会でも感じたことだが、ふだんから推進派と慎重派は論議しているのか、という疑問がある。この討論会を開く前に一度この両者をぶつけ合ったほうがよいのでは。お互いの揚げ足取りを見ているだけの様な気もする。住民が知りたいのは「正しい情報」のみであると思う。パネリストたちが本当に正しい情報を持っているのか。今回の討論会ではそのあたりが不安になった。結局、プルサーマルは安全なのか。大丈夫なのか。佐賀県の原発で実施しても大丈夫なのか。まだまだわからないまま。（佐賀県／女性／20代）
- ・ 地元住民の理解を得るのは難しいと思うが必要性は感じている。（佐賀県／40代）
- ・ パネリストのそれぞれの主張・説明に会場から拍手がおき始め少し驚いた。この会場へはこの問題に強い関心をもっている県民が多く足を運んでいるということだろう。安全性に的を絞った討論会でよかった。コーディネーターもその辺の意図を明確に持って進行している点もよかった。会場からの質問についても比較的的を得たよい質問が多かったと思っていたが、あるパネリストの発言にやじる者が数人いて、やや騒然となったのが残念だった。いくら冷静にデータに基づいて説明しようとしても理解しようとしていない者には無駄な討論会であろう。参加して欲しくない。県なりが絶対安全を保証しなければ安全協定を結ぶべきではないという意見はあまりにも無謀である。このような意見をもつ県民がいる限り県民理解を深めていく道のりは険しいと思わされたが、安全性について私個人の理解は深まった。どうすべきだろうか…。県の協定締結へ向けての基本姿勢が今後問われるが、最後の森本氏の発言は正にそうだった。（佐賀県／男性／40代）

- ・ 反対・慎重の人は安全性の説明に関し「理解しようとしなない」「聞く耳を持たない」ように思う。この討論会は賛成派に不利と感じた。(唐津市／男性／40代)
- ・ 国が許可を出した後にこんなことをするのは無意味。時期もタイミングもお役所的考えがみえみえで正直気分が悪い。(唐津市／男性／30代)
- ・ プルサーマルは十分危険なく運転できることがわかった。限りある資源の有効利用を図るべき。反対者はルールを守って参加して欲しい。大橋氏・出光氏の話は感銘した。(唐津市／男性／50代)
- ・ プルサーマル公開討論会の主旨を考えると、このような県主催の討論会は何回も実施する必要があると思う。(唐津市／女性／40代)
- ・ 事故のことばかりを言っているが、いろいろの学者の人もよくよく考えて研究していると思うので、我々のような浅学の者が考えてもどうにもならないと思う。(唐津市／男性／70代)
- ・ それぞれの意見および質問や回答を聞かせていただきありがたかった。ただこの討論会を開いて実施の有無は判断できないと思う。形式のみの開催とならないよう何回でも行うべき。(唐津市／男性／50代)
- ・ 今後は地区住民へのアンケートをとってほしい。早く処分場を決めること。(唐津市／男性／50代)
- ・ 地球温暖化をさらに広げなくするためには原子力しかないと考える。ゆえにプルサーマルはリサイクルが可能であり、安全でもあるので導入して欲しい。パネリストの小山氏の発言には技術的知識が必要なにもかかわらず、技術知識を有しないにもかかわらず、あたかも自分が技術的内容を知っているかのように発言することはやめて欲しい。(玄海町／男性／30代)
- ・ プルサーマルに対する不安はほとんどなくなった。今後の課題、安全の確保、放射性廃棄物の処理燃料対策等が重要。経済性と安全性が天秤にかけられている。今年の大雪で電力が喪失したときの、生活への影響等もふまえて現代の原子力の必要性も国民が考える必要がある。今、どれだけの人が「省エネ」を考え、実行しているだろうか。「数十年前の生活に戻せば原子力の必要なくなるのに」と時々考える。(唐津市／男性／30代)
- ・ 公開討論会では白熱した討議は多く出たが一般住民等はプルサーマルに関しては盛り上がりがないのはなぜか不思議だ。(唐津市／男性／60代)
- ・ 原子力発電所でのプルトニウムの利用は廃止すべき。白血病が増える。原子力排水口近くの魚が変形してる。今回も大橋氏は前回も会場より非難をあびる発言が多すぎる。MOX燃料の後処理どうするの。2010年以降の玄海のプールが満タンになるんだって。(唐津市／男性／50代)
- ・ 今日のテーマではないが、コストが合わないものにイエスというのはいかがなものか。安全を言うが本質的に危ないものを使うことは危険性は変わらないものを使うことしかできないというものでもないだろう。コスト計算に安全性を含めると大変高つく。問題を先送りすべきではないだろうか。すでに多くの専門家もそれを知っているのに考えるべき。問題を先送り・支払いを先に延ばす。やめたほうがよい。なぜ原発なのかがその必要性についていよいよ疑問が深まった。やっぱりお金儲けのためには必死になれると感心した。九電はプルサーマルをやらないと使用済み核燃料があふれてしまうのではないかと。佐賀県知事は了解を待ったほうが良いと思う。(唐津市／男性／50代)
- ・ 最初から話を全く聞いてない人があまりにも多い。技術論ではなく感情論が多い。イデオロギーとして反対の人々がかなりいる。まるで創価学会にキリストの教えを諭すようなものだった。もっと中立的な質問があるのではないかと。また、話をプルサーマル以外にすり替えて感情的な質問が多い。本当に地元の人たちなのか。まず質問の内容はプルサーマルの安全性を一本にすべき。特定の人だけの野次や意見・小言にふりまわされている。もっとしっかり司会すべき。(唐津市／男性／40代)
- ・ 今回の討論会で安全性が確得されたとは言いがたい。もっと回数を増やすべき。本当に安全というならなぜ原発を都会で設置されないのか。玄海原発の電気はそのほとんどが福岡へ送っている。万一の事故で被害を少なくするために遠方に設置しているのでは。プルサーマル導入によってより危険性があるものはごめんだ。本当に安全なら福岡の中心部や都会中心に部で原発を作って運転すべき。万一の場合、国や九電が責任を持つというのが大きな事故が発生し住民が被害を受けても何らありがたくない。急ぐ必要はないので県と玄海町はもっと住民・県民の理解を得る責任を果たしてほしい。(唐津市／男性／50代)
- ・ エネルギー資源の有効利用のため、進めるべき。安全性についても問題ないとする。小出氏の危険の理由がわからない。反対のための反対に聞こえた。小山氏の話は不安をあおるだけで中身がない。森本氏の話でリスクはわかったが今回の内容と直接は関係ないように思った。が、中国からの影響のほうが怖いというのがわかった。質問者以外の

- 人が発言して、パネラーが怒る。反対をしている人はパネラーの話を見聞かず、逆に帰れとか言う。もっと主催者は管理をして欲しい。質問は一人一問なのに何回も言う人がいる。県は早く了解を出すべき。(佐賀県/男性/20代)
- ・ 資源が乏しいわが国においては、少ない燃料を大切にリサイクルして使っていくことは今の時代は当然なことではないか。原発と共生している玄海町においてはプルサーマルを推進せざるを得ないのではないか。地元が思うことは安全性を強調される九州電力と玄海町との信頼関係以外にはありえない。地元の振興策等も併行して検討してもらいたい。(玄海町/男性/50代)
 - ・ 大変重要な事項であり今後とも討議を続けるべき。(唐津市/男性/50代)
 - ・ プルサーマルを今後も慎重に取り組んで欲しい。(唐津市/男性/30代)
 - ・ 九電のプルサーマル導入を真剣に考えさせられる検討会となった。科学的に見て危険性は現在と変わらないと聞き安心したが、課題もたくさんあると感じた。将来も安定した電気を使うためにもリサイクルは必要。(唐津市/男性/20代)
 - ・ MOXはダメ。(唐津市/60代)
 - ・ 議論の中身はすべて終わったのではないか。エネルギーやセキュリティからみてプルサーマルは推進すべき。(唐津市/男性/50代)
 - ・ よかったと思う。(玄海町/80代以上)
 - ・ セキュリティの問題も聞いたこと。耐震性・住民拒否を代弁が加わったこと。会は非常に影響を自分に引き寄せてくれた。安全か不安全か断定はできないが免に角、自分の住む家、環境が破壊されない平和であって欲しい。専門的なことは難しいゆえ予感として起こりうるかもしれないことが大きく開けることはプルサーマルをどうして使わなければならないのか、危険性はどのようになくすのか、燃料として安いから使うのか、処理するために使うのかわからない。安心・安全をどう教示するか検討して考えていかねがならない。(唐津市/男性/60代)
 - ・ 原子力発電の安全性といった技術的なことをこういった討論会で議論することはあまり意味がない。国の安全審査でOKなのだから改めて討論会を開くことはリソースとエネルギーの無駄。一部の反対派の質問のみ取り上げており、公平さに欠く会である。(唐津市/男性/50代)
 - ・ 反対意見のものには科学的・技術的な裏づけが感じられない。特に小山氏がなぜ参加したのかよくわからない。自分の利害・信条にあわない考え・説明・行政に対しては反対するという反対のための反対意見が多かったように思う。意見が合わないときは相手の意見を理解する努力が必要であるのに、せっかくの時間が無駄だったと思う。いつまでも堂々巡りしてきた討論会であってはならないと思う。(唐津市/60代)
 - ・ 資源が少ない日本にとってエネルギー問題は重要な課題であり、今後中国・ドイツなどが世界中から石油・石炭を買い付ける量がどんどん増えることは明確である。したがって日本としては当分の間エネルギーを原子力に頼っていくことは当然のことと考える。原子力に頼るにしても、ウラン資源はたくさんないわけであり、リサイクルであるプルサーマルに反対する理由はまったくなくと思う。安全性についても現在の原子炉でもプルトニウムは発生し、燃えているわけであるから、危険性が増加するとの意見に説得力はない。今後日本全国でプルサーマルが計画されており、佐賀県としてもその先鞭をつけていくべきと考える。プルサーマルに慎重な意見を持っている人の話を聞いても、一部の現象を捉えてそこばかりにスポットを当てていつている大局的にみて安全性に問題があるとは思えない。(佐賀県/男性/40代)
 - ・ プルサーマルを進めていくためには、このような討論会は重要と考えられるので、有意義であった。(唐津市/男性/30代)
 - ・ 放射能に当たると人の細胞はどのような形に変化するのか。図で示してもらいたい。また、どのくらいの時間で変化をおこすのか。(唐津市/男性/60代)
 - ・ 誇張やうわさに流されるのではなく、技術的見地から自分なりにきちんと判断したい。(唐津市/男性/40代)
 - ・ 住民の意見はほとんど取り上げられていない。なぜ、アンケートを玄海町や唐津市で行わないのか、また住民投票など腰を入れて、取り上げて欲しいと思う。この討論会では会場の発言の希望者がいるのにあてられない。手は20回以上挙げたけれど全然当てられない。これではまだ始まったばかりという気がしている。九電は回答を文書で要求しても、責任ある回答をしない。これではおかしい。また県は当事者でありながら何も言わないといって逃げているのではないか。また玄海町ではいくら町長とお願いしても、反対の私たちとは話し合いを一切しようとしなない。その状態では町民の気持ちも考えも通じないのではないだろうか。玄海町では反対ということは言いにくい状況である。だか

ら町民の考えは見えにくい。しっかり全般な論議をして危険を避けてほしい。生命がかかっているなのでこのままでは安心もできない。(玄海町／男性／70代)

- ・ 今回を含め3回の討論会に参加し、得た結論はテーマが指定されていたとはいうものの、パネリストを含め論点が近視眼的・視野に基づくものがほとんどであった点に失望した。我々人類の先祖の方々はその年代の環境に応じて最善の工夫と勇気を持って生き抜き生を我々に引き継いでいただいたことをわすれてはいけない。安全性の問題では、すでに先進フランス他で長期間実用運転実績もあり、信頼したい。社会生活システム全般における事故災害発生の現況は年間数千人の死亡者がでている車両事故を始め、列車事故・航空機や産業災害・医療事故などに至るまで、多くの被害者を生じている現状はより急務を要する問題点だと思う。事故災害の要因中、作業従事者にかかわるものがかなりの比率を占めている点を重視すべきで、原子力平和利用に限らず、従業者が技能維持と共にルールを守らせるための施策・観察等を充実させ実状を公開化する制度こそ急務と思う。責任感のある人を生み出すには幼児時代の家庭における親のしつけこそ最重要課題でこの点こそ世界規模のサミットで討議されるべきものと願っている。(唐津市／男性／70代)
- ・ 双方の意見があり、最後は自分自身の判断であり、そのためにはある程度の予備知識なくしては、どちらが正しいのかは理解できない。今日まで九電の説明会を何回も聞いた。また討論会等にも参加してみた。その結果として、必要性を感じている。ただいつまでもということではなく経済性のある、代替エネルギーの研究対策もあわせて国は対応を願いたい。(玄海町／50代)
- ・ 第1部ではところどころ話の論点がずれているところがあった。やはり住民からの声をもう少し聞く必要がある。改善として第2部をもう少し長くする。(唐津市／男性／20代)
- ・ 県内住民投票すべき。(玄海町／男性／50代)
- ・ 大橋氏は専門家として優秀だろうが、素人に説明することに不慣れで強圧的すぎるのではないかと。科学万能主義で剛構造すぎる。事故は確率は別にして必ず発生する。人はミスをするということを前提に論じるべき。当然、事故発生の確率を下げる努力、ミスをしないうシステムを講じることは絶対必要だが。(佐賀県／男性／50代)
- ・ プルサーマルを推進します。(唐津市／男性／30代)
- ・ 導入ありきを前提とした討論会のように思えて残念。福島・新潟ではプルサーマルを拒否されている現状と、使用済み燃料の廃棄の問題を考えると早急に導入を考える必要はない。(佐賀県／男性／40代)
- ・ 見切り発車しないよう十分討議を行い、安全を確信し進めるようお願いする。(佐賀県／男性／40代)
- ・ 必要なことはやるべき。安全に万全を施すことで事故に至らないようにすることも必要。(佐賀県／男性／20代)
- ・ 「想定外」の災害もあるのでプルサーマル計画はまだ実施すべきでない。(唐津市／40代)
- ・ 原発近くに住む住民として、国内で初めてのプルサーマルを玄海で実施されるのはやはり不安。エネルギーの必要性はわかるが、安全性が確立されていないと思う。県・玄海町もよく考えてもらいたい。(唐津市／男性／50代)
- ・ 原子力との共存をこれ以上拡大しない社会にしたほうがよいと思っている。今回の討論会に参加して、玄海原発でプルサーマル計画を実施しても安全性は現在の技術レベルで保障できることは一定理解できた。しかし、プルサーマル計画の経済性、今後の展望など、エネルギー政策への疑問が大きく残った。(佐賀県／男性／40代)
- ・ プルトニウムを燃料に混合した場合としない場合の安全度に絞って討論して欲しかった。現状の軽水炉の運転を是としてスタートし、プルサーマルが必要か否か、安全性はどうかをある程度討論できたのではないかとと思う。反対派の意見は情緒的であり、定量的にどのレベルならば許容すると考えるのか。単に「反対」ありきの姿勢に固執していると思えない。エネルギー資源の確保と核拡散防止の観点から、プルサーマルは実施すべき。(唐津市／男性／40代)
- ・ 一般参加者からの質問コーナーは大変よかった。現実味のある素朴な疑問だった。(唐津市／男性／40代)
- ・ 反対派の意見は他人の論文等を引用しただけで自分の考えがなく失望した。(佐賀県／男性／50代)
- ・ 賛成2名・反対2名・慎重派2名という基準で県はパネリストを選定しているが、慎重派ははずし、賛成であるが慎重な人、反対であるが〇〇をクリアしたらよいという人をパネリストに入れて欲しかった。仮想を言う反対派、原子力の専門知識のない反対派はパネリストに不向き。ヒューマンエラーを想定した対策が採られていて安心した。県の公開討論会は県民の意見を聞く点や専門家の説明が聞けてよかった。(佐賀県／男性／50代)
- ・ 初めから、何でも原子力に反対と賛成がいくら討論しても同じで、国・県はエネルギーの安定確保等で考えて早く決定した方がよい。何か小田原評定をやっている感を強く思った。私は昭和20～30年代にもう戻りたくない。安全性も原

- 子力の発電に働いている人が一番近いので、本来はその人たち意見を聞くべきだ。（唐津市／男性／60代）
- ・ 問題点が多すぎてあまり理解できなかった。推進側の話では安全ばかりなので有りわからない。（男性／60代）
 - ・ 森本氏が言われた近くの外国からの原子力の影響のほうが心配。全国的に国民全体が安全を理解していない中で唐津の名前がマイナスの評価特に農産物生産販売上食品の安全が強く言われている時期に風評的なことが心配。九電は地域の農産物の販売・安全PRも必要。観光面でも同じ。（唐津市／男性／50代）
 - ・ プルサーマルもいろいろな事情と原子力利用の国家的政策の背景を感じさせ、進められていることを少し理解できた。世界的にもCO₂の問題と化石燃料の価格の不安定さをクリアするために原子力発電が見直しの気運として高まりつつある。日本の科学力を信じる。計画を進めて欲しい。（玄海町／男性／60代）
 - ・ リサイクル・リユースは大切なので、プルサーマル計画に賛成する。（唐津市／男性／20代）
 - ・ プルサーマルの安全性について議論しているのに、テロとか地震とかのパネラーは不必要だ。主催者の県はこの点は反省すべき。ウラン燃料とMOX燃料の安全性の違いを見極めるだけでよいのでは。抽象的な危険・危ないの根拠が不足。推測の段階の域を反対派は出ていない。10km圏域は拡大すべき。（佐賀県／男性／50代）
 - ・ 国の安全審査はクリアできても周辺部の安全協定は10km圏以上に拡大して協定を結ぶべき。（唐津市／男性／50代）
 - ・ 賛成派・反対派の溝は永久に存在し続ける。もっと本質で語り合うことが必要。安全に万全はない。その通りである。だから危機管理が必要。導入後の安全策を徹底すればよい。そのための検査があるし、現場で働くものがある。パネラーの山内氏は不要。参加者の勝手な発言はダメ。（佐賀県／男性／30代）
 - ・ 討論会に参加するまでは賛成の気持ちを持っていたが、専門家の意見が別れており、わからなくなった。専門家の賛成が80%以上くらいになるまで時間を置いて検討してはどうか。（佐賀県／男性／60代）
 - ・ プルサーマルの計画の目的・導入についてよく理解できた。質問の内容は偏った考えが多く、もっと理解を深めてもらいたい。（唐津市／男性／40代）
 - ・ 反対者はデータを捏造せずに対応して欲しい。（佐賀県／男性／20代）
 - ・ 長すぎるのでほぼ時間通りに終了して欲しい。（佐賀県／40代）
 - ・ バカな反対派は意見として聞くだけでいい。（佐賀県／男性／40代）
 - ・ もっと安全性について理解を深めるべき。プルサーマルについては、「絶対安全である」という確証があってやるべき。（唐津市／男性／50代）
 - ・ プルサーマルは必要だと思う。（唐津市／女性／40代）
 - ・ 地球温暖化を含め、汚染など子孫に大事な地球を残す責任があると思う。しかし生活をする上で、エネルギーを使うわけで、やはり原子力はかかせない。さらにプルサーマルはいずれ使わなければならないエネルギーだと思う。（唐津市／男性／30代）
 - ・ 公開討論会の開催日はもう少し考えて決めたほうがよい。思いつきで決めるのではなく、計画性を持って決めて欲しい。県知事の資質を疑う。討論会の内容についてはいろいろな先生の知見が聞けてよかった。今後のエネルギー問題を考えるとプルサーマル計画は賛成できる。しかし、パネラーが発言したように、技術的根拠や安全尤度の検討内容をきちんと示していかなければならないし、運用開始後もきちんとしたデータを提示していく必要がある。（唐津市／男性／20代）
 - ・ 質疑応答において、すでにしつくされた議論の繰り返しが多かった。同じ主旨の質問が2・3回あったり、揚げ足をとるような質問であったり、残念。個人的には技術的な話や安全性について客観的に自分で判断できる情報であってほしい。そういう情報を今日の討論会に求めてきた。私は安全性についても理解できたし、議論も尽くされたように思う。（唐津市／男性／40代）
 - ・ MOX燃料は管理しえるものと認識した。管理は人が頼りであるので、今後は発電所に従事する人の教育を充実させて欲しい。（玄海町／男性／50代）
 - ・ 反対意見をあらかじめ決めてきて発言をする人が多かった。（佐賀県／男性／50代）
 - ・ 安全性には問題がある。急ぐ必要はない。唐津市との安全協定は必ず結ぶべき。（唐津市／60代）
 - ・ 安全に100%はない。現時点での科学的・施設の・行政的最大の安全確保を確認して推進すべき。エネルギー確保は必要。プルサーマル推進せよ。（唐津市／60代）
 - ・ 安全性の議論はある程度技術論で議論すべき。安心は違う!!技術的には車・列車・飛行機より原子力は上の部分が大。

いろんなことを言われてありえないことを考えている部分もある。と思う。原子力をやめて省エネという話も有ったが、人間のように欲のある動物は反対派が原子力だけを言っても、その人たちが日ごろどういう生活をしているか、自分で考えたことが真剣に考えたことはないのではないか。世界で原子力をやめたら必ず戦争が起こり人類は破滅するのは確実。人が安心して暮らすというのは信頼と経済のバランスが必要。もう少し、日本人としてエネルギー、社会情勢を考え、前向きな話をすべき。こうなったらどうだ、どうするとか人任せ。ひとつだけいえるのは、最終的に国がすべての責任を負うことが必要。(唐津市/男性/40代)

- ・賛成派・慎重派の意見はそれぞれ主張しあうのみであり、討論会での進展が望めないのは明らか。討論会で声が大きく主流と見える慎重派は、原子力自体に反対しているように見える。県の技術的・政治的判断を行う条件はそろっていると思う。(唐津市/40代)
- ・防災対策のレベルの討論は今回において必要性がたかいのかなと思う。多方面の角度の解析は必要かと思うが、“森本先生”に関しては資料を提示して欲しい。(唐津市/男性/40代)
- ・プルサーマル推進派のデータに対して、慎重派の意見の乏しさが目立った。一般の方があまり知らない情報を提供しているのにも関わらず、それを理解しようとしていない。安全性を証明するにはどうしても難しい説明になってしまう。そこを理解しようとせず、過去の事故や信頼性のない情報だけを取り上げて論争しても前に進まない。(玄海町/男性/20代)
- ・技術論と感情論との話であり、はっきり言って慎重派は根拠がないように感じた。慎重派は聞く耳を持っていない。したがって同じ質問や感情のままの意見が多く、討論という意味ではどうかと感じた。少し不快な場面もあった。「プルサーマルの安全性」の討論の中で、地震や保障の問題等、話の主旨に離れた、反対者の意見があり少し「無駄」な時間があり、その意味で残念。プルサーマルの安全性についてはよく理解できた。(唐津市/男性/40代)
- ・もっと質問をスマートにして欲しい。一人ひとりの話が長すぎる。小出氏の発言は少し極端的で個人の考えに偏っていた。変な影響を与えるためよくない。(唐津市/女性/20代)
- ・推進派の説明はよく理解できた。反対派の説明は端的に極論を言っていて、なぜ推進派はさらには国の審査に対して理解しようとしなくていいのか疑問。結論として今回のプルサーマル公開討論会は意味の大きい会であった。ぜひプルサーマルを進めて欲しい。(唐津市/女性/50代)
- ・講師の反対派の意見では理解できない。反対意見の議案を聞きたい。(唐津市/女性/50代)
- ・県は慎重に対応していただきたい。(佐賀県/女性/40代)
- ・プルサーマルそのもの安全性だけでなく、処理の方法、地震のこと、六ヶ所の再処理工場の件、すべてを含めて私たちの暮らしに関わってくる。子供や孫やずっとその先の暮らしのことも考えて欲しい。推進派の人が想像力が欠落している。絶対にプルサーマルはやめて欲しい。(佐賀県/40代)
- ・導入についてはいいが、実際の使用に当たっては詳細な説明をして欲しい。(唐津市/男性/20代)
- ・大人もだがこれからの中高生に対してもわかりやすい説明会等あったらと思う。(唐津市/女性/40代)
- ・今回の話を聞きお互いの考え方がよくわかった。反対派の意見はとても人類への愛情を感じるし、推進派の方の生活の豊かさの提供にも感じた。プルサーマルについては間違うと危険であると思うが、危険を理解するからこそそれに対する安全管理も十分考え私たちの生活を守ってくれる社員の方もいるので危険への不安も少しずつ薄らいできた。これからも事故が起きないようにがんばって欲しい。私は他の国からの影響のほうを心配している。でもよく考えてみるとプルサーマルが本当に危険なら国や九電はなぜやる必要があるのか。反対する人が言うように被害が拡大するなら九電にとって何のメリットもないでは。住民を危険にさらし従業員を危険にさらすようなこと、危険性を隠してまでやるのかということを見ると常識的に考えてそこまではしないのではないかと。(唐津市/女性/40代)
- ・もっと地震等の安全性や再処理の方法を考えて、方法が確立して改めて考えてよい。反対だ。今一度ゆっくり先のことを考えて再処理がきちんとできてから。ごみをおいていかれても迷惑。1000年も誰が管理するのか。(唐津市/女性/40代)
- ・パネラーの意見・考えも全く異なるような難しいこの問題を一般の方に何度聞かせてもこれ以上の理解は得られない。国と県の考えで進められたい。(佐賀県/60代)
- ・反対のための反対という感じで明確な意見を持っている反対者がいない。(唐津市/男性/50代)
- ・玄海3号機でのプルサーマルは大丈夫と技術面から話された。しかしいろいろな事故が起こっているし、隠されていたこともある。人口減少が始まった今、経済性でエネルギーが必要に疑問がある。「オール電化にしませんか」の電話・

訪問が多い。エネルギー削減が先で、プルサーマルは立ち止まったほうがよい。使用済みMOX燃料処理が決まってから考えるべき。国の原子力対策の誤りでプルトニウムを貯めたものを佐賀県や玄海町がプルサーマル導入を考えなければいけないことが腹立たしい。チェルノブイリの事故を忘れられない。プルサーマルに反対だ。（佐賀県／女性／40代）

- ・ 初めて討論会に参加した。またこのような機会があれば参加したい。何度も同じような質問をされてパネラーの方がかわいそうだった。（唐津市／女性／30代）
- ・ 核の平和利用としてプルサーマルは必要。（玄海町／男性／40代）
- ・ プルサーマルの安全性についての討論会に地震やテロの専門を呼ぶのは変。テロや地震はプルサーマルを導入しようとしまいと危険は同じ!!討論の方向が違う!!県の考えがわからない!!討論会の時期についても悪い!!年末の忙しい時期にするのは迷惑である。それもクリスマスに!!もっとしっかり考えろ!!県が大切な問題と考えるなら県知事があいさつし、直接話しを聞くべき。主催者の長としてあいさつしろ!!（唐津市／男性／30代）
- ・ 反対派は感情に走りすぎ。小さなリスクを問題視するあまり大局を見誤っている。推進・反対公平に意見を述べることは難しい。（佐賀県／男性／40代）
- ・ これまでの九電主催、国主催の討論会に比べ、意見交換の時間が多めにあったことはよかった。しかし国の人が言われた「唐津市の意向は県が代表して考える」という言葉に驚いた。玄海町もだが、県の判断は重大であり慎重な判断をして欲しい。知事は「住民投票にはなじまない」という主旨の発言をされたようだが、後世に悔いを残さないように、住民投票も考えるべきでは。万一のとき、賠償金で償えないものがたくさんある。知事が頭を下げてすむ問題ではない。佐賀県はもっと別の分野で全国のトップランナーになろう。県が最終判断を下すまでのプロセスをしっかり見つめていきたい。（佐賀県／女性／50代）
- ・ プルトニウム使用に際しては安全面に十分にやっているといえる。（唐津市／男性／70代）
- ・ 絶対安全とはいえないものの現在のエネルギー源を考えると、プルサーマルも必要。管理体制をしっかりと整えて安全に実施して欲しい。（唐津市／男性／70代）
- ・ このような討論会がもっと冷静なかみ合う議論になれば非常に有効なものとなる。少なくとも現状でこのような意見交換できることがチェックの仕組みにもなっている。（唐津市／男性／50代）
- ・ 原発が完全なら事故を想定した訓練など必要ない。（佐賀県／男性／60代）
- ・ 議論の時間が短い。疑問を持っている人は多いのでわかりやすく説明することが必要だし、討論会の日程を数回増やすことも県として考えてもよいのでは。（佐賀県／男性／50代）
- ・ パネルディスカッションでの討論をもっと多くして反対・賛成の意見を多く参加者に与えて欲しい。判断される材料に多ければ多いほどプルサーマルに理解を得られるのではないか。（佐賀県／男性／50代）
- ・ 質疑応答が多かったため反対・慎重の不安を払拭するためこのような討論会を開催するべき。（唐津市／男性／30代）
- ・ 質問時間を長く取らないといけない。パネラーの一部で自分の意見を理解しないのはおかしいという意味の発言があったのは残念。たびたびこんな討論会を開くべし。（唐津市／男性／70代）
- ・ 最近の木村建設・姉齒氏の耐震偽造などがあり、原子力の安全白書など信用性がどのくらいあるのか。安全ということとは安全であることについて文書が作られる。技術的・科学的なことはわかりづらい。日本の技術力は高いことはわかった。九州電力が莫大な費用を投じてプルサーマルを計画しなければならぬのか。（佐賀県／女性／50代）
- ・ 討論の柱をもう少し明確にして、その柱に沿ってそれぞれ討論していかないとわかりにくい。しぼれない。「安全性」をいうのであれば、プルサーマルにより「安全性」が高まるのか、変わらないのか、低下するにしろって討論するべき。（佐賀県／40代）
- ・ 自分の意見としては推進・反対どちらでもない。単純に燃料をリサイクルしてできるということであり、それが技術的に可能ということであれば、やっていくことが大事であると思っている。今回初めてこういった討論会に参加したが、思うのは、反対派は進行のジャマをにせしかならず、公平に判断したい人間にとってはとても不愉快だった。（玄海町／男性／20代）
- ・ 県は討論会を何回も開くべき。県は中立ではない。県民の安全を守る立場のはず。アンケートの設問がおかしい。安全に誘導する意図が見える。（唐津市／男性／70代）
- ・ これからの平和な社会を作っていく気があるなら、プルサーマルとは共存できない。エネルギー政策そのものを方向

転換させるべき。放射能の問題を解決した技術はない。問題を地中にうめる、責任を先送りにする、このような政策しか行えない今の社会や政治のあり方、考え方に明るい平和な未来はない。基本から考え方が違う。本当にこのまま進んでしまうならば私はそのような社会の中で生きたくはない。（唐津市）

- ・ 原発近隣の唐津市在住の住民として、プルサーマルについては非常に不安を感じている。ウラン燃料を使用する前提で作った3号機でプルトニウムを使用すること事態に疑問を感じる。最低でもプルトニウムを使用する前提で施設を作り、そして安全性を確認すべき。佐賀県は原子力に頼るだけでなく、少しでも消費電力を少なくする県民政策、エネルギー転換を推し進めるべき。（唐津市／男性／40代）
- ・ 過去の討論会や今回の討論会に参加して、日本・九州の将来を考えると必要であるとの認識が高まった。原子力の必要性については、みんなが理解している。また、安全性についてはどうやれば安全性が確保されるかをずっとPRすればよい。プルサーマルには推進する立場である。反対派の人たちはすべて反対すればよいとの考えで将来のことは何も考えていない。パネラーの小出氏もこのように実施したら安全であるとの考え方にたって発言して欲しかった。（佐賀県／男性／50代）
- ・ 日本は資源が少なくこれからも発展するためにはエネルギーセキュリティーの確保が大事。原子力は玄海で言えば約30年安全・安定運転を続けており、安全は証明されており、安心してプルサーマルは実施できる。反対派の意見を聞いてみると抽象的で根拠のない話を大きくし、危険をあおっている。大橋氏がいったか、反対派に説明しても理解してもらえないのだろうか。隣の席がグリーンコープの報道関係として座っていた。グリーンコープか報道関係なのか、隣の席に座って写真をパシャパシャ撮ってるさかった。話しを集中して聞けなかった。報道関係者を一箇所にまとめて欲しい。（唐津市／男性／40代）
- ・ 佐賀県の間が一生懸命カンカンガクガク議論しているが、メリットを感じるのは大多数の福岡県民および福岡県内の企業では。新幹線長崎ルートの問題と本質と同じ。新しく5号炉を安全性を最大限考慮して新設したほうがよい。（玄海町／男性／50代）
- ・ 基本的に自分は賛成。資源少国の日本では現在安定的に電気を供給できるのは原子力だけだと思う。小出氏の話しの中であまったプルトニウムを日本は使わないといけないから、プルサーマルをやらなければならないとの話があったが、それはそれでいいのでは。日本はほとんどが資源を輸入しているので。危険だからやらないではなく、管理すれば安全に使用できるのであればいい。それがなくては技術の進歩はありえない。反対派の人の話聞いているとありえない事故を想定して危険だ！危険だといっているように聞こえる。九電は長い間大きな事故を起こしていないし、他の大電会社よりかなり信頼できる。一市民として、今後も末永く電気を使いたいし、子孫にも残してやりたい。限りある資源を有効に使用するのは今を生きる大人として当然のこと。そういう意味でも私は玄海3号機でのプルサーマル計画には賛成。（唐津市／40代）
- ・ 推進派と慎重派との意見はかみあわないということがよくわかった。その中で、自分たちは自分の目でちゃんと判断していかなければならないと感じた。人がすることだから“絶対”はないが、ただひとつの判断根拠にはなったと思う。個人的には想像していた以上に安心した。（唐津市／男性／40代）
- ・ 資源小国日本にとってエネルギー確保の観点から原子力を選択し、活用してきた実績とその有益性を享受してきた。ウランの核エネルギーから電気エネルギーを取り出して利用しているが、その過程ではプルトニウムが生まれ、それもまた電気エネルギーにかわっている現実がある。人類はその知恵を最大限に活用して原子力にチャレンジしている。未来のために環境のことを含めずばらしいこと。思えば、地球上のエネルギーは太陽の核エネルギーのもとで存在していると聞いた。石炭も石油も国力さえも太陽熱のおかげで蓄積され、発生しているものである。すべてのもとは太陽核分裂のおかげ。さて安全面では原子力発電所内では幾重にも防壁が作られて大気中に核物質が飛び散ることは考えにくい。すでに炉内でプルトニウムが核分裂している現実からしてその濃度を少しあげたぐらいではそれよりもそれにチャレンジしていくほうを望む。プルサーマルの実績は国内外ですでにあり、問題となったことはない。原子力の未来の安全性論議から見てプルサーマルの議論はあまりにも小さすぎ、騒ぐほどのことではない。子供たちの将来に向かって明るい世の中で希望のあるものにしていきたい。最近中国が世界中でエネルギーの確保に動き出しているように見える。リサイクルは現時点でコストが高いかもしれないが、先はわからない。エネルギーそのものが確保できるか考えは広く持つべき。イージーマイノリティーに惑わされることなく判断を行って欲しい。必要性は◎：ぜひやる必要がある。安全性は○：人類としてチャレンジしていこう。大橋氏の話で安心できた。（佐賀県／男性／50代）

- ・ 一般の方には難しい内容である問題について原子力専門家の意見がわかれた内容を聞くことでますます混乱するよう
に思う。もっと県の担当者がしっかりと勉強して判断して欲しい。 (唐津市／男性／40代)
- ・ 県知事の必要性への理解もあほらしい。佐賀県としての必要性をどう説明するのか。 (唐津市／男性／30代)
- ・ ぜんぜんまだプルサーマルの目的・メリット・デメリットが全体的に説明されていない。ただ、安全性のみに執着し
た意見が多く、「本当に実施する必要があるのか」という疑問が残った。ただ感情的に反対する側の意見もわからな
くもないが、「イエス」か「ノー」どちらかと問われれば、まだ今の段階ではどちらともいえない。今後の動向に注目
して自分自身の考えを明確にして、社会全体で取り組んでいかなければならない問題。 (玄海町／男性／20代)
- ・ 今までの3回の公開討論会を通じて、プルトニウムの安全性の議論は尽くされたと感じている。パネリストの中の推
進派と反対派の主張や意見のズレも毎回同じ。今回大橋氏が指摘されたように反対派が不安をあおるような情報を流
してそれが一人歩きしている状況があるのは残念。プルサーマル導入については、国の安全審査・原子力安全委員
会での審議という技術的検討が十分に行われている。また玄海3号機プルサーマル公開討論会も3回開催された。佐賀
県知事はプルサーマル導入を了解する判断をしてもらいたい。私はプルサーマル導入に賛成。 (玄海町／男性／40
代)
- ・ プルサーマル計画のMOX燃料はウランの15万倍の放射能をもつ。近づいただけで被爆、100万分の1グラムでプ
ルトニウムは人を殺す。チェルノブイリ原発事故は800km圏内に放射能感染があり、19年で150万人が死亡している。
ウランの15万倍以上の放射能を持つ使用済みMOX燃料は使用済みウラン燃料の3倍の発熱量を持ち、同じ発熱量に
なるまでに100年以上かかり、放射能が半減するのに24000年かかる使用済みMOX燃料の処理方法が決まっておら
ず、玄海町に蓄積されることになっている。24000年も安全に管理できると一体誰がいえるのか。人形とうげのウ
ランを掘った後のウラン残土は誰も引き取り手がなく放射能で人が近づけない土地になっている。地元の訴訟が起きて
動燃が一部6億円でアメリカへ輸送。残り45万 m^3 は放射能を帯びたまま残されている。15万倍以上の放射能をもつ
使用済みMOX燃料の処理はどうなるのか。総事業費42兆94億と試算されているが、使用済みMOX燃料の処理費
用は含まれていない。いったいどれくらいかかるかわからないというのが実状。不足分は税金が投入され教育や福祉
生活が圧迫される。フランスのラアグ再処理工場で空気中にも海中にも放射性物質が放出され、小児白血病の発
症率がフランス平均の3倍にも上るとの報告もある。今年4月イギリスソープ再処理工場では金属疲労でプルトニ
ウムなどが学校のプール1/3ほどももれて運転停止になって閉鎖を要求されている。県知事様、絶対にプルサーマル計
画は導入しないで。24000年にわたり、子孫に過大な負担を残す。たくさんの人が死ぬと思う。 (唐津市／女性／
50代)
- ・ パネリストの考え方の着点が明らかになって興味深くわかりやすかった。要はものさしをどう位置づけるかとい
うことであろうが、今回の議論を通しては推進派のほうが説得力があり、また科学者として責任ある発言であ
った。 (佐賀県／男性／40代)
- ・ 客の態度が悪い。技術を伸ばすためにも先に進めなければならない。仕組みは始めて知ったが、タービンを蒸
気で回すという原始的なことだと聞いて驚いた。 (唐津市／男性／30代)
- ・ 地域の一般住民でだから安全!だから危険と本当にわかっている人が果たしてどのくらいいるのか。説明は理
論上のことばかり。しかも安全だという。ではなぜ①この計画が進まないのか②現実的に事故が発生している
のか。住民のほとんどが絶対とものがない以上①②のことが不安を感じている。だから考えられる事故には①
どのような事故が考えられるか②その原因は何か③そのときの被害影響は④対処策は。以上のことをし
っかり説明すべき。反対派は事故のことばかりなので、わからない人にも理解しやすい。それに負けない
説明をして欲しい。 (唐津市／男性／60代)
- ・ プルサーマルの安全性について住民に理解を求めると住民協定については別件。公開討論会の前によく説
明しておくべき。 (唐津市／男性／50代)
- ・ 途中で拍手が起こっていた。何か“やらせ”みたいで面白くなかった。しっかりと意見を聞きたかったの
に…。自分のことだけ考えると“なんで『玄海』が一番なんや”という気が強い。できれば、他の原発で
いろいろとデータが取れてからスタートしてもいいのでは。特にヨーロッパよりプルトニウム含有量が多い
MOX燃料を使うので、慎重にデータを取ってほしい。また鹿児島県の4号機がプルサーマル用に作
られたということを知った。それなのになぜ。大橋氏と会場のバトルは面白い。一番よくわ
かったことは国および九電がプルトニウムをなんとかしたいとおもっていること。 (佐賀県／男
性／40代)
- ・ 専門家の科学者としての安全性の意見、自信は一応理解できるが、技術・システム・相互緊張関係等
万全の対策を確

- 立すべき。情報公開の完全実施。 (唐津市／男性／50代)
- ・ プルサーマルの安全性については安全と判断する科学的根拠も示され、議論は尽くされたと考える。慎重派は技術論そのものに慎重なものでこれ以上討論しても進展は考えにくい。 (唐津市／男性／40代)
 - ・ 将来のために子供たちのために資源を少しでも残してやるのが私たちのできることではないか。石油・石炭・ガス・原子力についても、リサイクルであるプルサーマルを行い、次世代へ残すべき。 (唐津市／男性／40代)
 - ・ 石油が高くなっていく中で経済的にゆとりのある生活を行っていくためには、電源のベストミックスを図っていく必要がある。石油に依存するだけでなく、石油もウランもプルトニウムも均等に使うことが重要。エネルギー事情は今後も世界的に厳しくなる一方なので、管理をしっかりしていただいて、原子力発電所の事故が発生しないよう願う。 (唐津市／男性／40代)
 - ・ エネルギー問題は世界共通の課題。中国・インドはこれからの国。エネルギー戦争も懸念される。原子力は欠かせない貴重なエネルギー源である。確かにリスクはある。それは何事も同じ。世界共通の責任で安全管理を死守することである。地球を守るために我々人間は責任がある。大事なエネルギー源としてプルサーマル計画を推進すべき。国のリーダーシップを示すべき。食料とエネルギーは日本のウィークポイントでもある。事が生じてからでは遅い。日本が原子力技術のオピニオンリーダーとなり、世界のエネルギー供給バランスに貢献すべき。地球温暖化ストップ・抑止に原子力・プルサーマルは欠かせない。 (唐津市／男性／50代)
 - ・ プルサーマルを活用して発電したとしても、実際現行の軽水炉と同等の安全性と信頼を持っている。また、事故時の放射能漏洩の影響面から考慮しても現行と同等であると考えられ、プルサーマルによる安全性は現行と同等であると考えられる。今回のプルサーマルに対する安全性は妥当なものであると考えられるので、推進する。 (唐津市／男性／30代)
 - ・ 危ないものは永遠に危ない、だからやめさせる、という超非経済的な考え方の人たちはまだ改めきれずにいる。ノーベルが火薬を発明したおかげで人類の多くの文明が恩恵をうけた。しかしこれが戦争に使われ続けている。残念なことだ。しかし文化論的考えの中には不安・戦争に使う方が悪いのだ。懸命な人間は原子力を選択するだろう。資源・環境などを考えれば、ベターなプルサーマル利用はすべき。 (唐津市／男性／70代)
 - ・ 安全にしても危険にしても、絶対はありえない。慎重に進めて欲しい。十分に論議されたとはいえないようだから、再度開催されることが望ましい。 (唐津市／男性／70代)
 - ・ 慎重にそして速やかに進めて欲しい。 (唐津市／60代)
 - ・ 技術的には難しいことでも日本の科学力の高さなどではプルサーマルも決して難しくなく必要。 (唐津市／男性／40代)
 - ・ パネラーのそれぞれの意見・主張が聞けたのは非常によかった。しかし感じたこととしては、プルサーマル慎重派の意見についてデータの不透明な部分が多く見受けられた。不安という気持ちはわかるが正確な判断を行うべき。今回の討論会では危険であればそもそも行わないのであるということを感じさせられた。プルサーマルは推進していったほうがよい。 (佐賀県／男性／20代)
 - ・ 安全性については推進側のパネラーの話はよく理解できた。慎重派・反対派の人は情緒・うわさ等で話ししている感じ。事業者・国は安全を最優先に取り組んで欲しい。 (唐津市／男性／50代)
 - ・ 必要性の論議が不十分。高速増殖炉の見通しが不十分なままプルサーマルを実施すべきか、もう少し慎重な姿勢が必要。プルサーマルの安全性をそのものはなんとなく理解できる。 (佐賀県／男性／50代)
 - ・ 反対派は何を説明しても「反対」をし続けていくという心があり、平行線を感じた。 (唐津市／女性／50代)
 - ・ 参加したことで安全性について理解でき安心できた。プルサーマルの必要性については資源小国のわが国は進めることが必要であると思うので、今後も安全運転の意識を持ちながらプルサーマルを進めていって欲しい。今回の安全性に焦点を絞った討論会は県民の不安を解消するという意味で非常に有意義だった。参加者の席から一部感情的に大声を出す場面があり、冷静に話を聞きたかったので残念だった。会場の雰囲気も陰悪になったと感じた。 (佐賀県／男性／20代)
 - ・ いつの討論会でも平行線のまま。 (長崎県鷹島町／女性／20代)
 - ・ 今の段階ではまだ住民県民のプルサーマルの安全性について十分に理解されていないことを感じた。国の原子力政策に問題があると思う。玄海原発へのプルサーマル導入はまだ安全性を立証してから隣接地へも理解を得ずして取り組むことは大変危険であり反対である。県民の理解度にも大きな差がある。 (唐津市)

- ・ 終了する前から退席する市議の先生方は本当に住民の意見を汲み取ろうという意識があるのか。缶ジュースの缶を席の下に放置する女性議員は一般的なモラルもないのに、安全協定の云々について議論できるのか。いろいろな意見があると思うが、まずお互いの意見を聞くことからはじめよ～よ。 (唐津市／男性／20代)
- ・ 結局は参加者の質問の回答の話しを聞いていたほうがより理解が深まるような気がする。パネラーは推進か否か野態度を明らかにする程度でディスカッションは不要では。よって住民の理解を得るための討論会は質問の時間を多くとって開催すべき。またその質問を確実に回答できるパネラーを出席させるべき。 (唐津市／男性／50代)
- ・ 素人には技術的・専門的な「安全性」を正しく判断するのは困難。しかしこのような公開の場で推進派・反対派双方の専門家が議論することそのものが非常に有意義なこと。この衆人注視のもとで交わされた議論を踏まえ我々が選んだしかるべき人たちが懸命な判断を下してもらえればと考える。 (唐津市／男性／40代)
- ・ エネルギー問題は経済をはじめ、我々の生活の基礎でありいろいろな意見はあると思うが、自信を持って推進すべき。 (唐津市／男性／50代)
- ・ 正直安全性について今までよくわからなかったが、今回の話を聞いて安全性について少しわかった感じがする。反対の意見を言っている先生方の主張もわからないではないが、危険性をあおっているだけで、その主張の根拠について問われると答えられなかったり、あいまいだったりと全体的に見て推進派の主張のほうが根拠が明確。危険危険といっているが、何がどのように危険なのか。推進派の答えを聞くとあまり危険でないような気がする。また反対意見は反対するのに都合のいいようなデータで議論している。 (唐津市／男性／40代)
- ・ 何事も完全はありえない。議論の基本姿勢としては、メリット・デメリットを整理し、①それぞれの言い合いを判断する支点を正しく示す②デメリットを小さく、メリットを大きくする対策③デメリットを受ける人があればその対策に分けられる。その意味で「必要性」は①支点を明確にする大前提である。「他のエネルギーを探す」といっても具体的には…そこに至る社会・経済・政治体制の展望は。反対・慎重の人には明確な前提を提示して欲しい。「安全性」についてはもっと専門家間で日頃十分な議論を積み上げて欲しい。整理した結果を元に専門外の人へのPRをし意見を吸収して欲しい。不利益を受ける地元対策としては交付金・損害補償で安全性確保への支援・安心の確保を保障されるべき。 (佐賀県／男性／60代)
- ・ プルサーマルが本当に安全なら関西や東京電力でやればいい。地方は都会の犠牲。エネルギーの輸入が少なくなるよう、新エネルギーの開発へもっと国費を投入すべき。使用済み燃料の管理方針も甘い。中国に原発が増えるのも心配。 (佐賀県／50代)
- ・ 何回聞いても同じ質問、同じ意見が出る。同意する中でも不安があるのは当然。世論は絶対に厳しい目を持っているという認識を事業者・国は常に維持して欲しい。それが結局安全な原発を作るもとなる。ひとつ疑問に思ったのは、推進派の意見に対して必ず拍手が起きるのはなぜか。 (玄海町／男性／50代)
- ・ 参加者の疑問に対しての回答が長すぎる。討論なら再質問させるべき。質問者が多いのに、時間がなくて終わろうとしている。参加者が主人公のはず。これで県はどう判断するのか。役目済ましてこれで終わるのか。この1回きりの公開討論会で唐津市民の声をどのように知事は代弁するのか。唐津市民として納得いかない。 (唐津市／女性／50代)
- ・ 原子力安全はイデオロギーや信条とは違う問題で、技術論が優先すべき。現在使われている電力は原子力発電が40%を越えて発電している中で、太陽光発電や風力発電を代替にしてはどうかの意見があるが、現在の技術・費用を考えるならば、原子力発電を推進していくべき。今日の討論会は国の審査のあり方もあった。現在考えられている技術の中で審査が行われていけば、プルサーマル計画は実施すべき。エネルギー政策の中で自給率4%しかエネルギーを有効に活用できるならば原子力発電を推進すべき。慎重派の意見も少しは勉強して発言して欲しい。九電・国主催と同じ質問ばかり。声を荒げれば自分の意見が通るような反対派の声を聞くな。自分のデータが正しいとの主張ばかり。 (唐津市／男性／50代)
- ・ 安全性について各パネラーの説明は現在既知の条件の中において安全である開く幾度の討論会の中で聞いてきたが必ず反対者の意見が出る。化石燃料は相当に多い由、ならば化石燃料に依存すれば何の問題もない。しかし、われわれは今後未来はるかに生きる。化石燃料による地球温暖化による水面上昇はもちろん異常気象。原子力への反対者意見流に見ると一部分損害をはるかに大きいものになろう。資源の少ないわが国は特に人間を教育に傾注しリサイクルが可能な原子力に依存すべき。特に反対派は今後原子力が非であるならなぜそれに替わる案なりの研究し、発表すべき。ただ原子力の是非のみでは我々人類はどう生きていけばよいのか。原子力反対者は原子力代替方を並行して発表すべ

- き。(70代)
- ・ プルサーマルの安全性に絞って議論するということがあったが、反対派は安全性よりも他の議論が多く焦点がぼやけたのが残念。しかし推進側からはデータ等を提示するなどして丁寧な説明がありよくわかった。一方、反対する人の質問を聞いていると、全く説明を聞いておらず、自分たちの都合のいい話ししか信じようとしない姿勢を見るにつけ、時間をかける意味があるのか疑問。不安に思う、一般の人への説明としてはもう十分と思われる。(唐津市/男性/40代)
 - ・ 国の政策で進めるのだからもっと国が表に出るべき。広く多くの方の話・意見を聞くというのはいいが、集約するには無理がある。推進も慎重も有る程度代表者にしぼることも必要。いつまでやってもどれだけやっても接点を見つけることは無理。むなし。国の政策で進めようとするのが一部の意見では進まないということにも問題がある。(唐津市/男性/40代)
 - ・ パネルディスカッション等を取り入れて説明されたことについては原子力業界で仕事をする私にとっては理解しやすかったが、一般の人についてはもっとわかりやすく説明され、理解を得るようにされたいと思う。例・図およびマンガ等を多く取り入れたらよい。(玄海町/男性/30代)
 - ・ 100%の完全を求めたら何もできない。最後の0.1%に向かって努力してこそ物事は達成できる。電力を確保するには原子力の利用も致し方ない。反対の人も唯、やみくもに反対するのではなく、ならばどうすると対案を示すべき。(唐津市/男性/70代)
 - ・ すごく有意義な討論会だ。県内で一箇所だけでなく少なくとも旧郡内に1回ずつは討論会を開くべき。お人よしで勇敢で受け入れやすいという人格の九州人・佐賀県になぜ日本で初の危険なプルサーマルを押し付けようとするのか疑うべし。何かあると取り返しがつかない。九電も事故が起こるとつぶれると思う。(佐賀県/女性/60代)
 - ・ 資源の少ないわが国においては燃料のリサイクル、プルサーマルは必要と考える。ただし安全品質管理がベース。今回の討論会においてさらに安全の強化が必要と再認識する。今回の討論において慎重派はあげ足のみ。今の日本は技術で生きるべきであり、どうすればさらにいいのか意見を出すべき。(唐津市/50代)
 - ・ プルサーマルの危険性を論ずるより、森本氏が言うように外的な要因・危険性についても論議すべき。原発の危険性は当然と思うが、安全管理が重要である。九電のみに安全管理を委託する、任せるのではなく、国の責任で管理し、監視を強めていくべき。素人でも判断できるよう、情報公開が重要。科学技術で想定できる範囲で危険性を論ずるのは問題。想定できないから事故が発生しているのであり、安全許容度と厳重な管理・監視が必要。(佐賀県/男性/50代)
 - ・ 賛成派らしい学者は、仮定・誇大な資料を言葉巧みな学術用語を駆使してしゃべりまわり地元住民の日常的な心配の部分にはふれない。事故は大きな隕石が落ちた場合など私らにとっては憤慨であった。講師の人選はどのような基準でされたか。どうもプルサーマル賛成派の学者が多かったと思う。公平にというならばっきり反対を表明される学者をいれねば公平とはいえない。話が進むうち、学者の肩書きをふりまわし、数字で安全安全という宣伝に使われた討論会という感じを受けた。(唐津市/女性/70代)
 - ・ 反対派は同じ質問ばかり。討論会の内容をよく聞いて欲しい。(唐津市/男性/30代)
 - ・ プルサーマルに反対の立場だが「関係者」のプレートをつけたひとが推進の立場のパネリストの発言に大きな拍手をしてあおっていた。「関係者」がどういう人か知らないが、中立であるべき。国主催も同様だが、まだまだ参加者との意見交換が不十分。専門家からの問題点投げかけを30分程度にして参加者との意見交換に時間をとることで理解を深めることが大切。全体としてストレスが残る内容だった。日常生活の中で私たちの生活にどういう影響が出るのか、出ないのか、そしてプルサーマルの是非を決めるときは私たち住民の意思が反映される住民投票により決めて欲しい。県にはその責務がある。安心してすめる地域づくりのためにもよく考えて欲しい。(玄海町/男性/40代)
 - ・ 資源の有効活用を願う。(唐津市/男性/50代)
 - ・ プルサーマルの安全性については推進派と慎重派の議論は慎重派は漠然としている。(唐津市/男性/40代)
 - ・ エネルギー資源のない日本では原子力発電を有効に利用すべき。県の考え方が見えないため明確にして欲しい。(唐津市/男性/30代)
 - ・ 世界的に見ると日本の技術力はトップレベルであり、他国への技術協力や製品の輸出等も行っている。反対派の意見は感情的。技術的・定量的に説明をした賛成派の意見の方に同意。何事においても100%安全はないのであり、原子力においても想定されるトラブルをすべて考慮されているのであれば許容できる。以上のことからプルサーマルの安

- 全性については許容できるレベルと考える。(唐津市/男性/40代)
- エネルギー資源の確保には、プルサーマルは必要。(唐津市/30代)
- パネラーの推進派の学者は全国的に続発している事故により国策は破綻しているのにそこから何を学ぼうとしているのか。その点に全く触れようとしないところが大きな疑問。エネルギー・情報工学研究会議の調査によると、8回目の調査では「推進する」より「反対・廃止」が増えてきている。プルサーマルについては賛成全国で22%、立地地域で全国で28%、反対は全国で28%、立地地域で37%。このように反対派が増えているのになぜプルサーマルを強行するのか。安全協定について、唐津市10km圏以内には、玄海町の55倍の人が住んでいる。ナノになぜ県は安全協定を結ばないのか。安全協定を結ぶべき。(唐津市/男性/70代)
- 今日は参加してほんとによかった。日本の原子力政策のデタラメさと電力会社の利潤追求第一の姿勢とウソに基づく宣伝によって原発は安全だと思い込まされていたことがはっきりした。安全性が完全に確立してない現在、何も今すぐ急いで原発に増設したり、ウランを燃料とする炉で毒性の強いプルトニウムを使用するプルサーマル建設には絶対反対。今日、資源問題や環境問題が叫ばれているときにエネルギーを化石燃料や原子力発電に頼るのではなく、今直ちに新しいプルサーマル原発に多額の予算を投入するのではなく、代替エネルギーの開発・研究に資金を投入するのが電力会社の社会的責務ではないか。再考を求め。(唐津市/男性/60代)
- 原子力政策については、安全性も重要であるが、今日の討論会で考え気づいた点は安全性と必要性の両面から議論してもらったほうが一般の私たちには理解できたのでは。私はプルサーマル計画を推進して欲しい一人。地球環境および廃棄物の長期的管理面からも他の廃棄物に比べリスク管理が高いため。ただし、電力の自由化と国策での推進について不安もある。原子力に反対する人ももっと現実を注視して。(佐賀県/50代)
- 諸外国においてもプルサーマル発電の実績があり、特段問題になるものではない。賛成派・反対派の意見や考え方というものはなかなかみ合わず討論会の難しさが見られた。(唐津市/男性/40代)
- 安全性の議論は非常に難しくどちらが正しいのかを科学的に判断しろといわれても無理。私なりに考えてみると、もし危険が増えて事故を起こせば九電は大きな損害を被るだろうし、国は責任を問われることになると思うが、プルサーマルが危険だという人は仮にプルサーマルが安全に行われても何も責められることはないだろうと思う。(唐津市/男性/40代)
- 賛否両論が一同に介してコンパクトに議論されそれを聞いたのは非常によかった。また各パネラーともパソコンを使ってデータを直ぐに提示できるにで、4~5時間でも従来の討論会より中身の濃い有意義な議論になっている。従来よりも専門的な内容のデータ提示がやりやすくなっている。賛否両論あるが、そもそも原子力発電の持つリスク総量が相当に小さく、今回のMOX燃料使用によって従来のウラン燃料のみの場合に比べて、若干のデータが変わり、時に2倍とか10倍とかになったとしても、リスク総量に対してはほとんど影響を与えないことが、むしろ慎重派と感じられる方々の意見を聞くことによって理解できた。慎重派からもリスク総量が比較にならないほど大きくなるという話しは出なかった。したがって以前は自分なりに持っていた双方から出るデータを理解できずに抱いていた不安はなくなり、プルサーマルはOKとして問題ない。(佐賀県/男性/50代)
- プルサーマルは非常に危険であることがわかった。もともとリスク管理することで妨げるものではない。つまり原子力プラントの安全システムが勝負である。この安全システムに重大な影響を与えるプルサーマルは絶対容認できない。今日の討論会でOKを出せる状況ではないと出席者全員が感じている。(唐津市/男性/50代)
- ウラン燃料とプルトニウム燃料に大差ないが、プルサーマルに特化しない質問が多かった。(唐津市/男性/40代)
- 慎重派が安全性をはじめから理解しようとしないうる姿勢が目立つ。パネラーに失礼。けんかごし。慎重派を代表する小出氏は「事故は起きないとは考えない」という意見であり、具体的に危険性の説明がないので議論がかみ合っていない。(佐賀県/男性/40代)
- 大橋氏は人格がおかしなやつである。パネラーにふさわしくない。出光氏は自分の出したデータの説明ができなかった。今日のために準備した資料であるはず。安全性は全く確認できなかった。(唐津市/男性/50代)
- プルサーマル計画は避けて通れない。信頼と安全についてさらに安全管理体制が肝要。地域住民へ周知徹底を図るべき。まだまだ努力を望む。(唐津市/70代)
- 反対派も冷静に発表・質問できないのか。(玄海町/女性/50代)
- 九電や国主催の討論会にも出席したが今回県主催の討論会がもっとも焦点を絞り込んでいたため、賛成派・反対派の意見が修練されていた。開催の意義はあった。ただし、原発そのもの~プルサーマルのみでなしの安全性を再度議論

- すべき。万が一のテロを想定した場合の法整備の不備など後手の対応が気になるところ。（佐賀県／男性／40代）
- ・ 安全性について、賛成派は実績に基づいて話または実験で話しをする。反対派はそれ以上の場合、また放射能についてもあまり大げさすぎて基準値内であればいいのではないか。一般の人が不安がるように話す。説明に基準値を表してしたらよい。安全協定については、他県はしているが、今は今の方法でいいのではないか。県知事がどう考えているのかわからない。事業者は大変でも日本初でがんばるだけ。国をもう少し表に出せばよい。いままで他社の事故で進めない丸電30年の実績でがんばって欲しい。日本のエネルギーのために。（玄海町／男性／50代）
 - ・ ぜひプルサーマルを推進して欲しい。（佐賀県／男性）
 - ・ ここ2~3年のうちにたくさんの説明会・討論会が必要な感じがした。これからを担う若い人の参加ができる討論会が必要。パネルディスカッションでは、説明時間が少々少ない。森本氏が言ったプルサーマルの危険性よりも諸外国の原子力の危険性が高いというのに同感。農薬や環境破壊の規制が甘い国が原子力を扱えるのかという不安を取り除くのがこの先大切。（唐津市／男性／30代）
 - ・ 資源の有効利用ができれば積極的に取り入れて欲しい。危ない危ないでは進歩がない。（玄海町／男性／20代）
 - ・ 住民投票を願う。（玄海町／60代）
 - ・ 反対者はプルサーマルだから反対でなく、何を説明しても一緒。（唐津市／男性／40代）
 - ・ まだまだ理解不足。もっとじっくり時間をかけて議論すべき。知事が最初から1回しかやらないと言っているのはおかしい。こういう発言をするから、形だけの討論会といわれる。（唐津市／男性／40代）
 - ・ 何回開催しても同じ。賛成・反対が平行線。（唐津市／男性／50代）
 - ・ プルサーマル賛成派の意見のほうに説得力があり、プルサーマルを採用し、大切な資源を再利用したほうがよい。（玄海町／男性／20代）
 - ・ プルサーマルが安全か否かは市民には判断できない。ひとつは内容が難しすぎる。その判断をどこに託すか。すでに認可している国であるが、その国を信頼できないことが問題。問題が山積みであるということだけが理解できた。（唐津市／男性／30代）
 - ・ 資源の少ない日本において将来のエネルギー確保をどう考えるか。石油等においてもあと40年あまりの量しかない。自然エネルギーだけに頼れない今現在において残り少ない量の資源をどう節約し、新しいエネルギー開発までもたせるかがカギ。今生きている私たち、家族、その他の人たちだけの問題ではなく、将来の人たちのためにもっと真剣に考えるべきこと。将来のために子供たちのために今後も考えて、今私たちができる選択の一つとして、プルサーマルをどう考え、捉えて生かせるかが本日この討論会での意味であった。プルサーマルはリサイクル性・経済性に優れたものであるが、プルトニウムの持つ危険度をどうするか。これが私たちが安心できる域まで来るためには、わかりやすい説明と技術力の向上・維持ではないか。今後もわかりやすい説明の継続により、安心できる域まで早くできることを望む。その域まで来たときが初めて選択できるステージに立つのではないか。（唐津市／男性／40代）
 - ・ 推進派の理論・慎重派の理論は常に解離状態である。相互の理論を聞いていて安全性に対する判断ができるのか。私には不可能。ただこの地区は玄海原発の恩恵に預かっているのも事実。「想定内」「想定外」の理論合戦では結論は出しにくい。もしものときの責任はどのような形で誰がとってくれるのか。（唐津市／男性／40代）
 - ・ 日本は96%のエネルギーを海外に依存しており、プルトニウムをリサイクルして使うことは世界の流れに沿ったものとする。紙のリサイクルと同じで古紙の値段が高くても、ものを大事に使う点で積極的に使っている。プルトニウムの利用も同じで推進すべき。反対派のプルサーマルの危険性に対する指摘の根拠が都合のいいデータばかり集めて誇大に危険性をPRしている。慎重派・反対派の会場からの野次は不快。もっと冷静に対応して欲しい。（唐津市／男性／50代）
 - ・ 反対派の人は話を聞こうともせず、常に自分の主張を変えようとしなない。最初から反対ありきでの反対である。いろいろな人の説明の中で多少とも勉強して欲しい。（唐津市／男性／50代）
 - ・ 推進派・反対派それぞれの立場で意見交換を行うことはよいことだが、一部反対派に誤解があるように感じた。プルサーマルについては経済性で一部問題はあっても、安全性において、他のウラン燃料と同程度であるし、とくに問題があるとは思えない。経済性においてもエネルギーリスクマネジメントの観点からリスクを少なくする意味で無視できるもの。エネルギーからだけでなく、安全保障の面からも平和利用の目的でのみ許されるプルトニウムをいつまでも多量に保持しておくことは国際社会の一員として妥当な姿とは言えず、再処理能力を持つ日本としては少しでも早くプルトニウムを発電に利用すべきである。そして燃料リサイクルを早く軌道に乗せ、世界へ日本の技術力と平和

- 利用への意思表示を行うべき。(唐津市／男性／40代)
- ・安全に関してはこれでよいということはどこまで議論しても結論は出ない。ある時期にしかるべき人が判断する時期に来ている。(唐津市／男性／50代)
 - ・質問者が感情的になりすぎて討論会がたいなし。平等な意見を聞いて納得したかった。(唐津市／男性／30代)
 - ・プルサーマル導入は不必要。唐津市との安全協定締結は最前提。県知事の不要論発言には不快を感じる。(唐津市／男性／40代)
 - ・反対派の発言者が多く公平性がない。反対派の意見が強く、時間をかけすぎ。(唐津市／40代)
 - ・エネルギー自給率に乏しいわが国ではプルサーマルはエネルギー安全保障上からも必要。また、地球温暖化防止上からも原子力発電の貢献は必要。(唐津市／男性／50代)
 - ・本日は大変中立で進められているのでよかった。その中で自分が感じたのは何をやるにしても完全はありえないということ。想定の中でしっかり安全に努めて運転して欲しい。日本は無資源国であり、先進国の日本が化石燃料を使い果たすことはできない。そんな中で原子力の政策を考えると国がしっかりした方向性を示すことが大切。(佐賀県／女性／30代)
 - ・玄海町での国の討論会、今回の県の討論会を聞けば聞くほど安全か危険かわからなくなった。当初は簡単にリサイクルされてよいものだとおもっていたが。このような討論会を1年間に5~6回実施して、結論を出すべき。(玄海町／男性／70代)
 - ・慎重派の意見は現実味がない。(佐賀県／男性／40代)
 - ・森本氏が言ったように、日本という小さな箱の中での議論をしているようで、技術的に問題なく、むしろ周辺諸外国の方が問題ではないか。(唐津市／男性／40代)
 - ・ロシアの原発のことは一言も説明もなかった。最近黒海に面した原発のこと、その発電所がヨーロッパ諸国から閉鎖するように言われているが、危険だから電力不足でどうしようもない。ロシアは政府が請合わない。それにロシア国民は自分の生活で精一杯でそこまで反対する余裕がない。日本は船作りを誇っている。海上に移動できる実験炉を製作し、公海出し運転を何年も重ね、新しい技術を確立して。地球規模の温暖化といっているが、日本海側の海水の温度が高いのは日本・韓国の原発の排水によるもの。(唐津市／40代)
 - ・パネラーのプロフィールを知りたい。(唐津市／男性／60代)
 - ・推進派・慎重派の論点が理解できた。プルサーマルの問題は原子力自体に賛成か反対かの議論であり、安全性への問題ではないと感じた。現在、原子力が必要であるなら、プルサーマルの実施は問題ない。(唐津市／男性／40代)
 - ・九電からの出席は今回もなく、最終保障問題になれば誰が保障するのか、九電は最初から逃げて保障問題になったときの対象、どう対応するのか不安。本当に安全安心というなら九電の最高トップ以下に3約までは原電の側に住み、そのそばの海の幸や近くの農地の生産物を食して欲しい。本当に自信持った建設というならその気味のトップが自ら示すのがみんなを安心させることができる。いろいろと理屈は後回しにして、本当のリーダーを示して欲しい。九電はなぜ代替エネルギーや自然エネルギーの開発に重点をおき、すすめないのか。ただただ儲けだけに重点を置いているのか。不思議でならない。玄海町だけに同意を求めてそれでいいのか。もしも事故が起これば、北九州はもちろん韓国周辺も危険地域に入ると思う。もっと広範囲に考えるべき。推進派は小さく反対派は大きいと想定して議論しているが人間の生命をどう考えていくのか。後々に負の遺産にならないのか心配している。保障を玄海町だけに保障金を支払うのか、納得できない。玄海町を金で言い含めてあるのか、そうでないのなら、新唐津市を含めて保障金が同等か、玄海町にだけ支払うということはしないのが道理では。(唐津市／男性／50代)
 - ・安全に絶対はない。ただし原子力の場合は現在の技術の最高レベルを集めたもの。考えられる事故を想定した対策は採られている。今日の説明で理解できたし、国の安全審査も合格していることから、安全運転を条件に推進していくべき。少資源国日本の未来を救うのは原子力であり、リサイクルである。(佐賀県／男性／50代)
 - ・プルサーマルを実施する前に、使用済み燃料を備蓄する方法もあったと思うが、なぜプルサーマルを実施することになったのかわからない。備蓄すると将来ウラン燃料がなくなってきたときに初めてプルサーマルをやればいいと思うが、どうして早く実施する必要があるのか、正直な説明が欲しい。本当は、日本がプルトニウムを溜め込むことに不安を感じる国からの圧力ではないか。(唐津市／男性／30代)

以上アンケート総数 561 枚

プルサーマル公開討論会

日時：平成17年12月25日(日)13:00～17:00
場所：唐津ロイヤルホテル
テーマ：「玄海原子力発電所3号機プルサーマル
計画の安全性について」

《パネラー》

出光 一哉 九州大学大学院教授
大橋 弘忠 東京大学大学院教授
小出 裕章 京都大学原子炉実験所助手
小山 英之 美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会代表
森本 敏 拓殖大学海外事情研究所長
山内 知也 神戸大学海事科学部助教授

《コーディネーター》

中村 浩美 科学ジャーナリスト

(敬称略)

(オブザーバー)

資源エネルギー庁、原子力安全・保安院、原子力安全委員会、九州電力(株)

プログラム

| | |
|-------------|----------------|
| 13:00～13:15 | (1)開会、概要説明 |
| 13:15～15:05 | (2)パネルディスカッション |
| 15:05～15:20 | (3)休憩 |
| 15:20～16:45 | (4)会場との質疑応答 |
| 16:45～17:00 | (5)まとめ、閉会 |

主催 佐賀県

以下の事項に是非、目をお通してください

会場内で守っていただきたいこと。

会場内での横断幕・プラカード等の持ち込み及びビラ配りを禁止します。

会場内では、ビデオ等による撮影は禁止となっております。

会場内は、禁煙です。喫煙は指定の場所をお願いします。

会場内での飲食は御遠慮ください。

携帯電話等は電源をお切りになるか、マナーモードにさせていただきようお願いします。

討論会の進行に支障をきたすような言動はお慎みください。

「質疑応答」の際の留意事項

質問がある方は、挙手していただきます。指名はコーディネーターが行いますので、指名された方はマイクがきてから、質問を始めてください。

進行はコーディネーターが行います。コーディネーターの指示に沿っての進行にご協力ください。

なるべく多くの方に質問いただけるように、質問は原則としてお一人様1回とさせていただきます。

パネラーに質問がある場合は、パネラーを指定して質問をお願いします。

質問時間は1回につき2分とさせていただきます。
1分40秒で予鈴を鳴らしますのでご協力ください。

お姿が映ることなどがあります。

会場内の模様は、県内各ケーブルテレビ局での中継及びインターネットでの配信を行います。会場からの質問者及びその周辺にお座りの方々の様子などが流れることもございますので、ご了承ください。

討論会終了後、議事録を作成しインターネットで公開します。会場の皆様からの質問についても掲載させていただきますので、ご了承ください。

プルサーマル公開討論会 アンケート用紙（平成17年12月25日）

今後の原子力安全行政の参考にさせていただきますので、アンケートにご協力をお願い致します。
それぞれ該当するものに をご記入ください。

Q1 . あなた自身について、お聞かせください。

お住まい 1. 玄海町 2. 唐津市 3. それ以外の佐賀県 4. 長崎県鷹島町

性別 1. 男性 2. 女性

年代 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代

7. 70代 8. 80代以上

Q2 . 今回の「プルサーマル公開討論会」全体の時間は（4時間）はいかがでしたか。

1. 長かった 2. やや長かった 3. 適当だった 4. やや短かった 5. 短かった

Q3 . 「プルサーマル公開討論会」に参加されての全体的な感想はいかがでしたか。

1. とても良かった 2. まあまあ良かった 3. 普通 4. あまり良くなかった 5. 良くなかった

* どのような点でそう感じましたか

(_____)

Q4 . 「プルサーマルの安全性」について、講師等の説明は理解できましたか。

1. 理解できた 2. だいたい理解できた 3. 少しは理解できた 4. あまり理解できなかった

5. 理解できなかった

* どのような点でそう感じましたか

(_____)

Q5 . この討論会を聴いて、「プルサーマルの安全性」について、あなたの理解は深まりましたか。

1. そう感じる 2. だいたいそう感じる 3. どちらともいえない 4. あまりそう感じない

5. 感じない

* どのような点でそう感じましたか

(_____)

